

2. 県民アンケート調査

2.1. 県民アンケート調査概要

2.1.1. 県民アンケート調査の目的

愛媛県地震被害想定調査の一環として、愛媛県民を対象に、大規模地震に対する事前の備えや発生時における行動等について、被害予測における設定の根拠資料及び今後の防災・減災対策の参考資料とすることを目的としたアンケート調査を実施した。

2.1.2. 県民アンケート調査の概要

以下の概要で、県民アンケート調査を実施した。

実施期間	：2025年4月下旬から2025年5月上旬
調査対象	：愛媛県に在住する県民
回収状況	：2,089件回収（Webアンケート1,000件※、愛媛県ホームページ1,089件）
有効回答数	：2,088件（1件が県外からの回答のため無効扱いとした）

※WEBアンケートは、居住市町、津波浸水想定の有無、年齢によるスクリーニングし有効回答数を確保した。
浸水想定区域内、及び区域外でサンプルサイズ400以上（回答比率50%、信頼度95%とした場合に標本誤差5%）となるように、市町ごとの割付数を設定した。

2.2. 県民アンケート調査結果概要

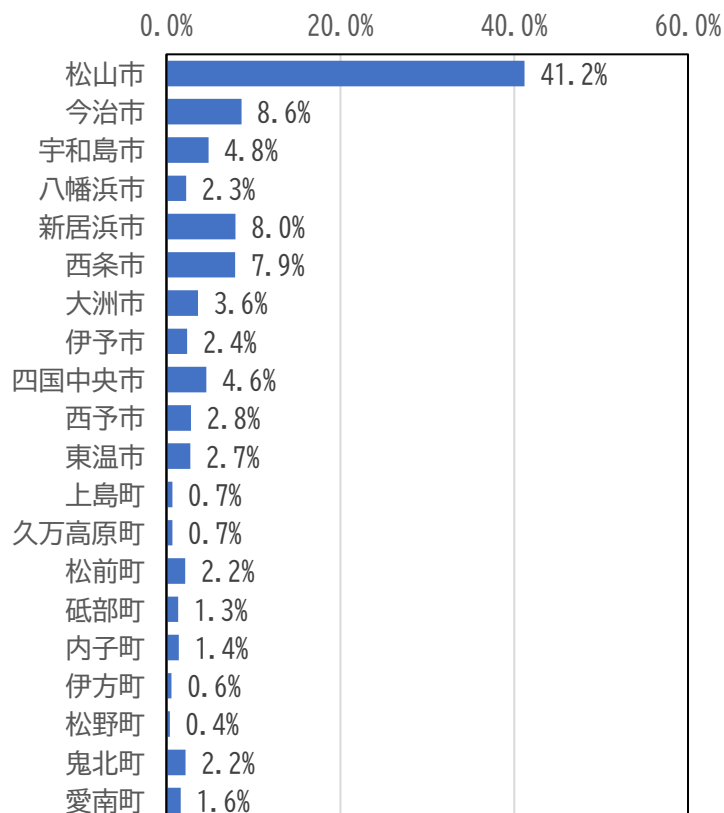
2.2.1. スクリーニング調査

(1) 居住する自治体

Q1 あなたが住んでいる市町をお答えください。(〇は1つ)

アンケート回答者数は、人口の多い「松山市」(41.2%)が最も多く、次いで「今治市」(8.6%)、「新居浜市」(8.0%)、「西条市」(7.9%)が多かった。

選択肢	数	割合
松山市	860	41.2%
今治市	180	8.6%
宇和島市	101	4.8%
八幡浜市	47	2.3%
新居浜市	166	8.0%
西条市	165	7.9%
大洲市	76	3.6%
伊予市	50	2.4%
四国中央市	96	4.6%
西予市	59	2.8%
東温市	57	2.7%
上島町	14	0.7%
久万高原町	14	0.7%
松前町	45	2.2%
砥部町	28	1.3%
内子町	30	1.4%
伊方町	12	0.6%
松野町	8	0.4%
鬼北町	46	2.2%
愛南町	34	1.6%
全体	2,088	

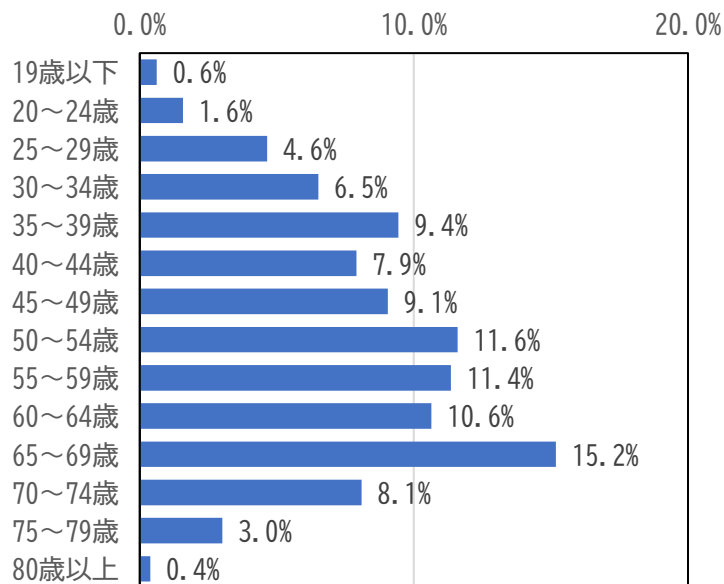


(2) 年齢

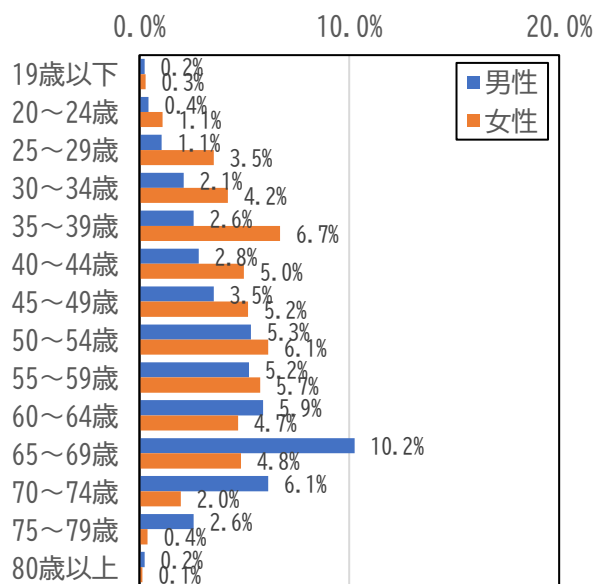
Q2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

アンケート回答者の年齢は、「65～69歳」(15.2%)が最も多く、次いで「50～54歳」(11.6%)、「55～59歳」(11.4%)、「60～64歳」(10.6%)が多かった。性別・年齢別では、「65～69歳男性」(10.2%)が最も多く、次いで「35～39歳女性」(6.7%)、「50～54歳女性」(6.1%)、「70～74歳男性」(6.1%)が多かった。

選択肢	数	割合
19歳以下	13	0.6%
20～24歳	33	1.6%
25～29歳	97	4.6%
30～34歳	136	6.5%
35～39歳	197	9.4%
40～44歳	165	7.9%
45～49歳	189	9.1%
50～54歳	242	11.6%
55～59歳	237	11.4%
60～64歳	222	10.6%
65～69歳	317	15.2%
70～74歳	169	8.1%
75～79歳	63	3.0%
80歳以上	8	0.4%
全体	2,088	



	男性	女性	答えたくない
年齢			
19歳以下	5	6	2
20～24歳	9	23	1
25～29歳	22	74	1
30～34歳	44	88	4
35～39歳	54	140	3
40～44歳	59	104	2
45～49歳	74	108	7
50～54歳	111	128	3
55～59歳	109	120	8
60～64歳	123	98	1
65～69歳	214	101	2
70～74歳	128	41	0
75～79歳	54	8	1
80歳以上	5	3	0

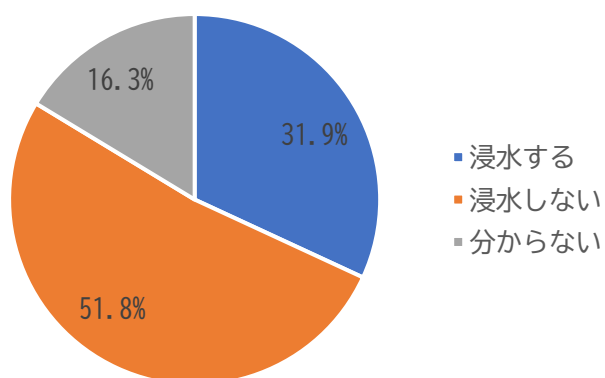


(3) 津波浸水の想定

Q3 あなたのお宅は、お住まいの市町が公開している津波ハザードマップなどで津波による浸水が想定されていますか。(〇は1つ)

自宅が津波による浸水が想定されるかは、「津波による浸水は想定されていない」(51.8%)が最も多かった。「わからない」(16.3%)が一定数いる結果となった。

選択肢	数	割合
津波による浸水が想定されている	666	31.9%
津波による浸水は想定されていない	1,081	51.8%
わからない	341	16.3%
全体	2,088	



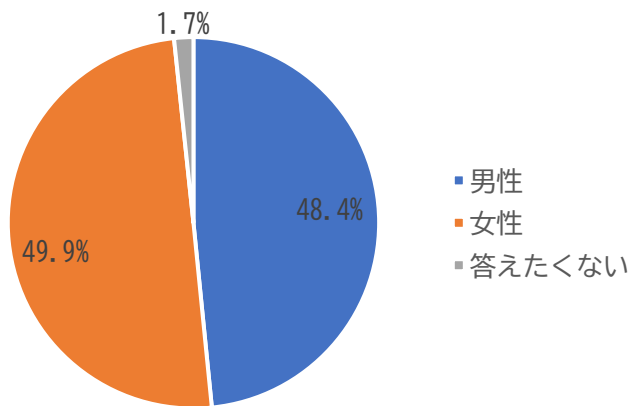
2.2.2. 基本属性

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

回答者の性別は、男性(48.4%)と(49.9%)で偏りなく回答が得られた。

選択肢	数	割合
男性	1,011	48.4%
女性	1,042	49.9%
答えたくない	35	1.7%
全体	2,088	

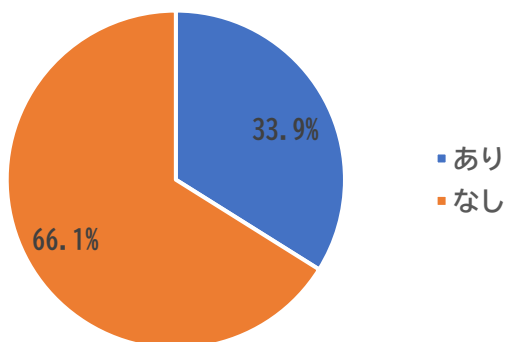


(2) 自宅の郵便番号

問2 ご自宅の郵便番号を教えてください。

郵便番号から津波浸水の有無を判定すると、津波浸水ありが33.9%、津波浸水なしが66.1%だった。

		数	割合
津波浸水	あり	708	33.9%
	なし	1,380	66.1%
全体		2,088	

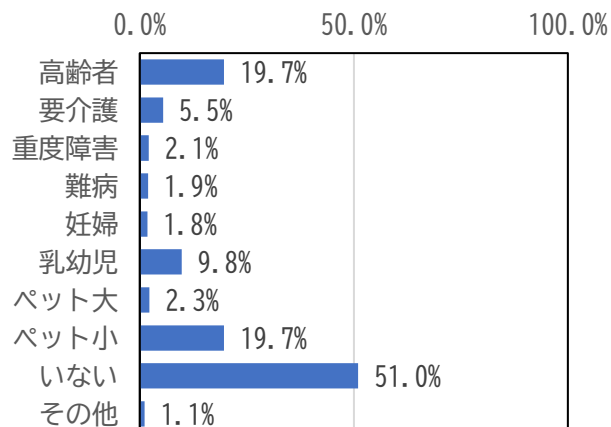


(3) 同居家族の要配慮者

問3 あなたを含めた同居家族の中に、以下のような方はいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてに○)

同居家族の要配慮者の有無は、「いない」(51%)が最も多かった。同居家族に要配慮者がいる方では、「高齢者(75歳以上)」と「ペット(小型)」(19.7%)が最も多く、次いで「乳幼児」(9.8%)が多かった。

選択肢	数	割合
高齢者(75歳以上)	411	19.7%
要介護認定者	114	5.5%
重度の障害者	44	2.1%
難病患者	40	1.9%
妊婦	37	1.8%
乳幼児	205	9.8%
ペット(大型)	47	2.3%
ペット(小型)	411	19.7%
あてはまる人はいない	1,065	51.0%
その他	24	1.1%
全体	2,088	



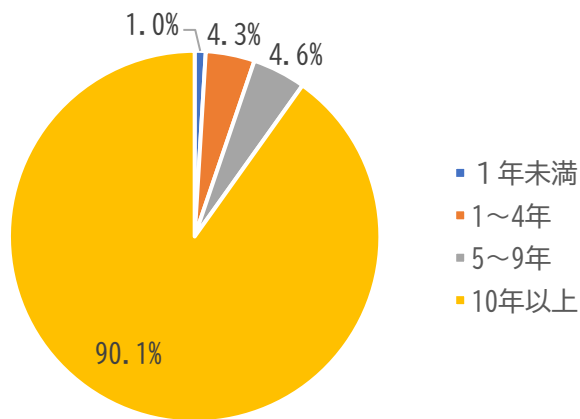
その他の意見：外国籍、軽度発達障害、身体障害者 など

(4) 県内の居住年数

問4 あなたは愛媛県にお住まいになって何年くらいになりますか。(○は1つ)

県内の居住年数は「10年以上」(90.1%)が最も多かった。

選択肢	数	割合
1年未満	20	1.0%
1～4年	89	4.3%
5～9年	97	4.6%
10年以上	1,882	90.1%
全体	2,088	



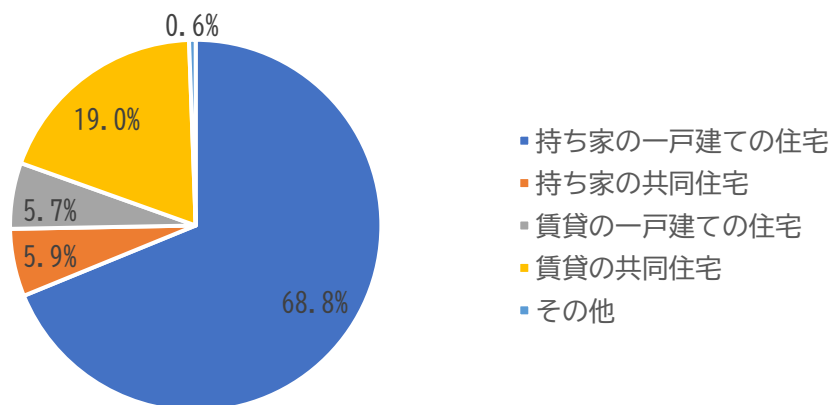
(5) 住まいの形態

問5 あなたのお住いの形態を教えてください。(○は1つ)

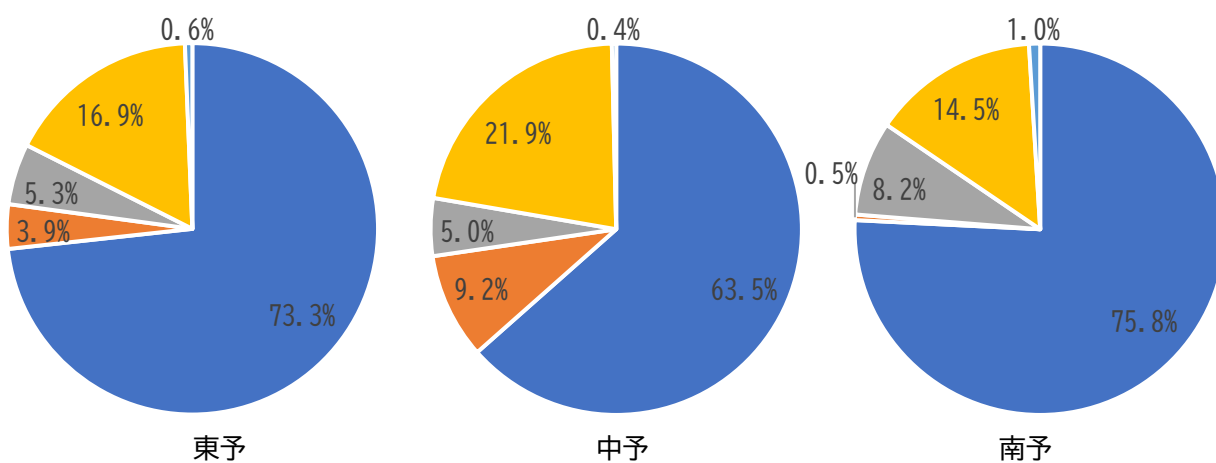
住まいの形態は、「持ち家の一戸建ての住宅」(68.8%)が最も多く、次いで「賃貸の共同住宅」(19.0%)が多かった。地域別で、傾向に違いはないものの、中予が共同住宅の割合が相対的に多く、「持ち家の一戸建ての住宅」の割合が県全体と比べて5ポイントほど小さい。

選択肢	数	割合
持ち家の一戸建ての住宅	1,437	68.8%
持ち家の共同住宅	123	5.9%
賃貸の一戸建ての住宅	120	5.7%
賃貸の共同住宅	396	19.0%
その他	12	0.6%
全体	2,088	

その他の意見：市営住宅、社宅、間借り など



地域		持家一戸建て		持家共同住宅		賃貸一戸建て		賃貸共同住宅		その他	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	455	73.3%	24	3.9%	33	5.3%	105	16.9%	4	0.6%
	中予	669	63.5%	97	9.2%	53	5.0%	231	21.9%	4	0.4%
	南予	313	75.8%	2	0.5%	34	8.2%	60	14.5%	4	1.0%

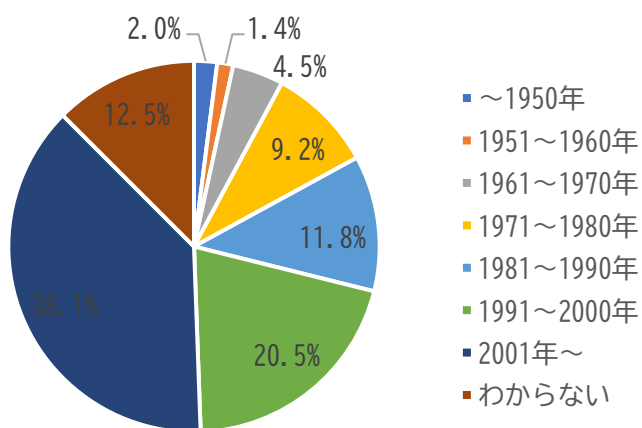


(6) 住まいの建築年代

問6 あなたのお宅はいつ頃建てられましたか。(○は1つ)

住まいの建築年代は、「2001年以降」(38.1%)が最も多く、次いで「1991年～2000年」(20.5%)が多かった。「わからない」(12.5%)が一定数いる結果となった。

選択肢	数	割合
1950年(昭和25年)以前	42	2.0%
1951～1960年(昭和26～35年)	29	1.4%
1961～1970年(昭和36～45年)	93	4.5%
1971～1980年(昭和46～55年)	192	9.2%
1981～1990年(昭和56～平成2年)	247	11.8%
1991～2000年(平成3～12年)	429	20.5%
2001年(平成13年)以降	795	38.1%
わからない	261	12.5%
全体	2,088	



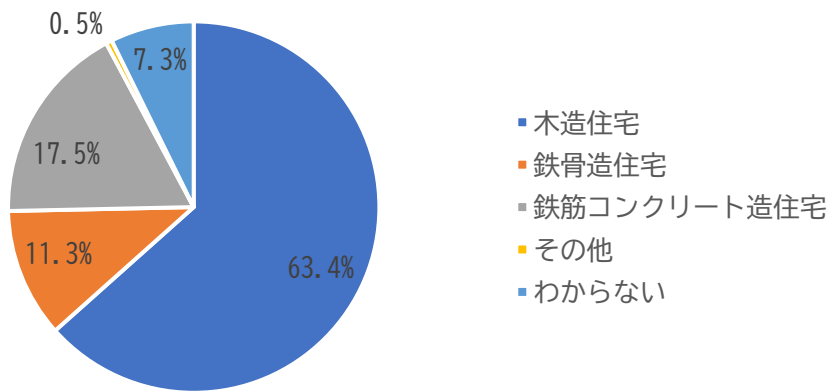
(7) 住まいの構造

問7 あなたのお宅の構造を教えてください。(〇は1つ)

住まいの構造は、「木造住宅」(63.4%)が最も多く、次いで「鉄筋コンクリート造住宅」(17.5%)が多かった。

選択肢	数	割合
木造住宅	1,324	63.4%
鉄骨造住宅	235	11.3%
鉄筋コンクリート造住宅	366	17.5%
その他	11	0.5%
わからない	152	7.3%
全体	2,088	

その他の意見：木造と鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート造、軽量鉄骨造、1階だけ鉄骨2階は木造、ツーバイフォー、コンクリートブロック造 など



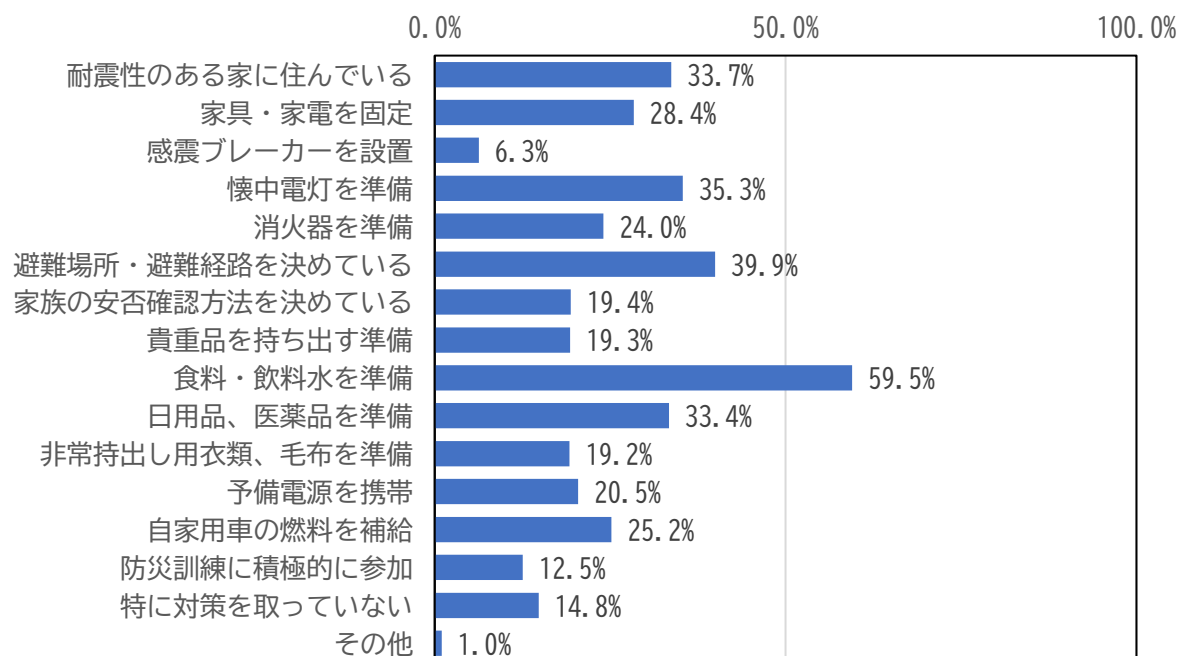
2.2.3. 日頃の防災対策

(1) 大きな地震への備え

問8 あなたのお宅では、大きな地震があった場合に備えて、今のような対策をとっていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

大きな地震への備えは、「食料・飲料水を準備している」(59.5%)が最も多く、次いで「避難場所・避難経路を決めている」(39.9%)が多かった。

選択肢	数	割合
耐震性のある家に住んでいる	704	33.7%
家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	592	28.4%
揺れを感知して電気を止める感震ブレーカーを設置している	131	6.3%
停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	738	35.3%
消火器を準備している	502	24.0%
近くの学校や公民館などの避難場所・避難経路を決めている	834	39.9%
家族の安否確認の方法などを決めている	405	19.4%
貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	403	19.3%
食料・飲料水を準備している	1,242	59.5%
日用品、医薬品を準備している	697	33.4%
非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	401	19.2%
外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	427	20.5%
自家用車の燃料を十分に補給するようにしている	526	25.2%
防災訓練に積極的に参加している	262	12.5%
特に対策は取っていない	309	14.8%
その他	21	1.0%
合計	2,088	



その他の意見：発電機、ポータブル電源、ガラス飛散防止フィルム、1階のみ耐震補強、テント、防災土取得、避難場所を貼りだす準備 など

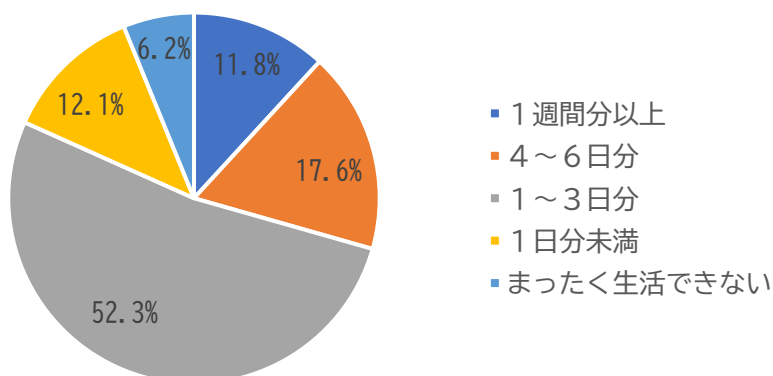
(2) 備蓄

問9 災害時には、備蓄している非常用の飲料や食料（長期保存水、アルファ化米など）や、普段飲食をされている食料等のうち常温で保存できる保管物（缶詰、乾燥食品など）を最大限活用することが求められます。今現在、お宅にあるもので何日間生活することができますか。（それぞれ○は1つ）

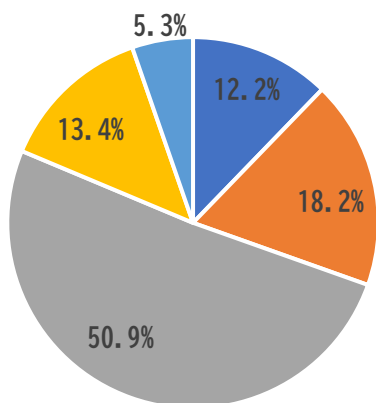
食料の備蓄状況は、「1～3日分」（52.3%）が最も多く、次いで「4～6日分」（17.6%）が多かった。3割ほどが、4日分以上を備蓄している結果となった。地域別で、食料の備蓄状況に傾向に違いはなかった。

■食料の備蓄状況

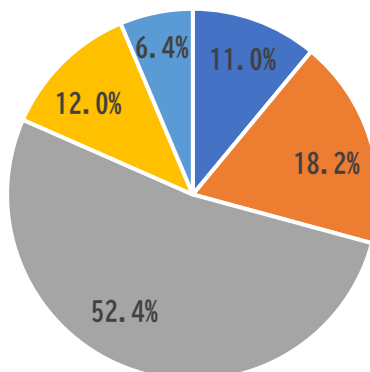
選択肢	数	割合
1週間分以上	247	11.8%
4日分～6日分	367	17.6%
1日分～3日分	1,092	52.3%
1日分未満	253	12.1%
まったく生活できない	129	6.2%
合計	2,088	



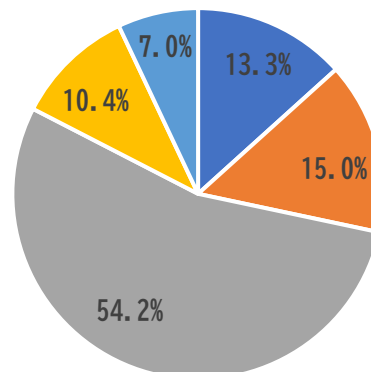
	地域	1週間分以上		4～6日分		1～3日分		1日分未満		まったく生活できない	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
	東予	76	12.2%	113	18.2%	316	50.9%	83	13.4%	33	5.3%
	中予	116	11.0%	192	18.2%	552	52.4%	127	12.0%	67	6.4%
	南予	55	13.3%	62	15.0%	224	54.2%	43	10.4%	29	7.0%



東予



中予

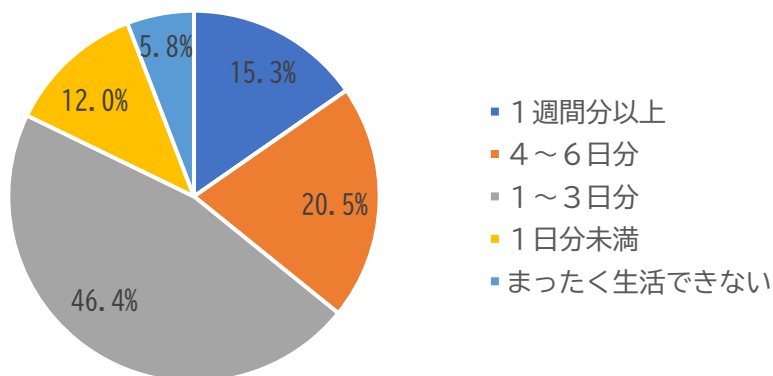


南予

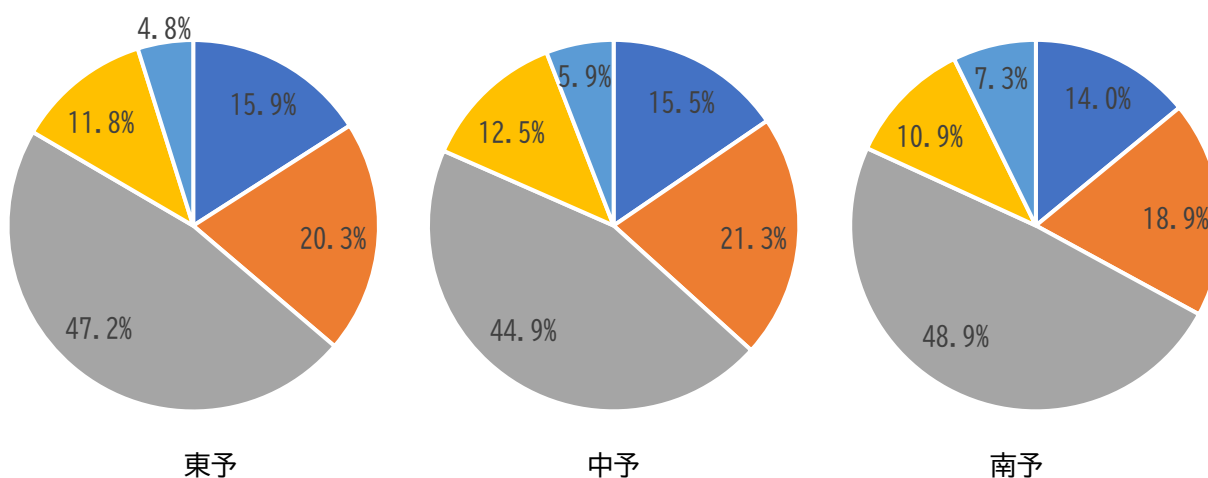
飲料水の備蓄状況は、「1～3日分」(46.4%)が最も多く、次いで「4～6日分」(20.5%)が多かった。3割ほどが、4日分以上を備蓄している結果となった。地域別で、飲料水の備蓄状況に傾向に違いはなかった。

■飲料水の備蓄状況

選択肢	数	割合
1週間分以上	320	15.3%
4日分～6日分	428	20.5%
1日分～3日分	968	46.4%
1日分未満	250	12.0%
まったく生活できない	122	5.8%
合計	2,088	



		1週間分以上		4～6日分		1～3日分		1日分未満		まったく生活できない	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	99	15.9%	126	20.3%	293	47.2%	73	11.8%	30	4.8%
	中予	163	15.5%	224	21.3%	473	44.9%	132	12.5%	62	5.9%
	南予	58	14.0%	78	18.9%	202	48.9%	45	10.9%	30	7.3%



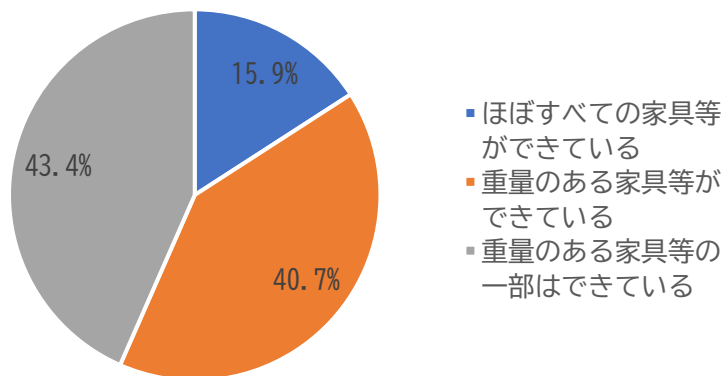
2.2.4. 家具類の固定

(1) 家具類の転倒防止対策

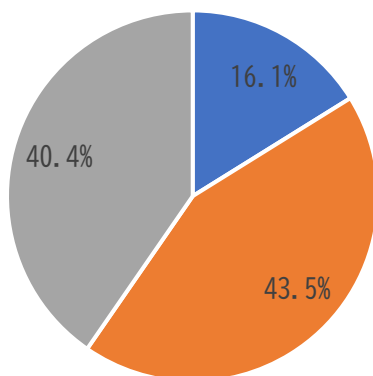
問 10 あなたのお宅では、地震に備えてタンス、本棚、食器棚などの収納家具や、冷蔵庫、テレビなどの家電品、その他の重量物の固定をしていますか。(○は1つ)

家具類の転倒防止対策は、対策をしている人のうち、「重量または高さのある家具・家電などの一部の固定はできている」(43.4%)が最も多く、次いで「重量または高さのある家具・家電などの固定はできている」(40.7%)であった。地域別で、傾向に違いはないものの、南予が「重量のある家具等の一部はできている」の割合が全体と比べて7ポイント高い。

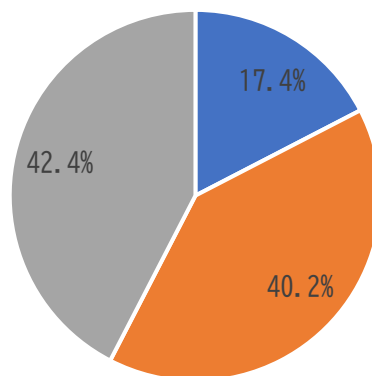
選択肢	数	割合
ほぼ全ての家具・家電などの固定ができている	94	15.9%
重量または高さのある家具・家電などの固定はできている	241	40.7%
重量または高さのある家具・家電などの一部の固定はできている	257	43.4%
合計	592	



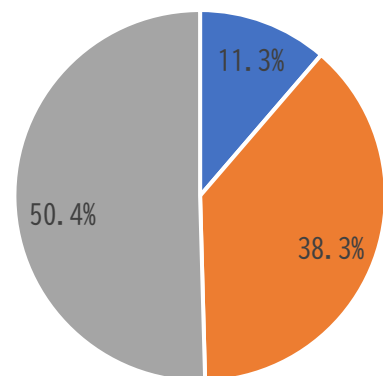
		ほぼ全てできている		重量家具はできている		重量家具の一部だけ	
		数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	26	16.1%	70	43.5%	65	40.4%
	中予	55	17.4%	127	40.2%	134	42.4%
	南予	13	11.3%	44	38.3%	58	50.4%



東予



中予



南予

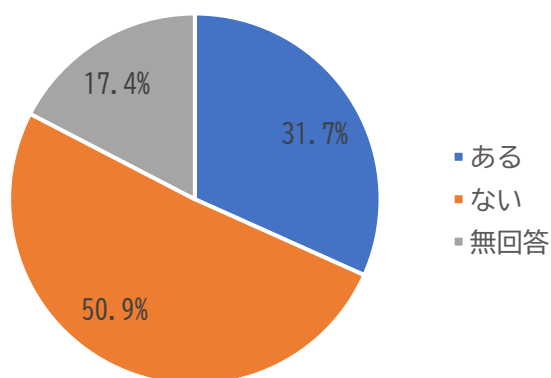
2.2.5. ブロック塀等の対策

(1) 塀の有無

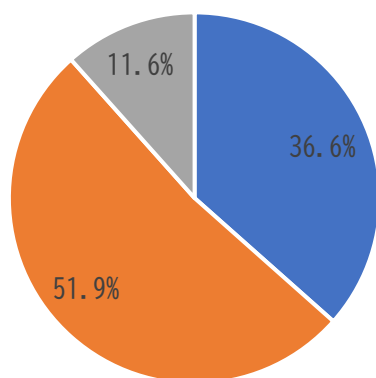
問11 あなたのお宅には、道路に面している塀等（高さ1m以上）はありますか。（○は1つ）

塀の有無は、「ある」（31.7%）、「ない」（50.9%）であった。地域別で、南予が「ない」とする割合が多く、県全体と比べて10ポイントほど多かった。

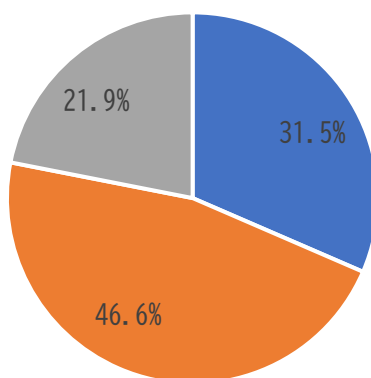
選択肢	数	割合
ある	662	31.7%
ない	1,063	50.9%
無回答	363	17.4%
合計	2,088	



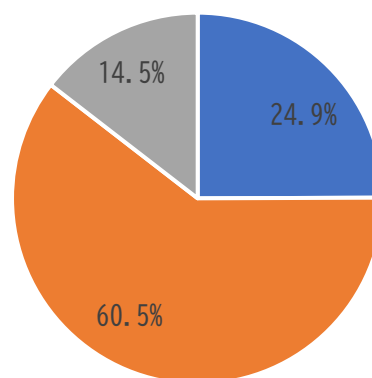
		ある		ない		無回答	
		数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	227	36.6%	322	51.9%	72	11.6%
	中予	332	31.5%	491	46.6%	231	21.9%
	南予	103	24.9%	250	60.5%	60	14.5%



東予



中予



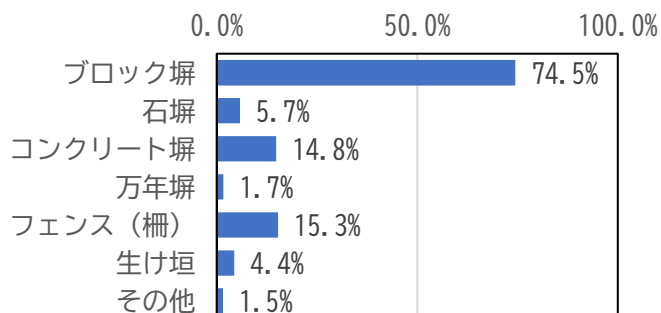
南予

(2) 塀の種類

問 11-1 その塀の種類を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

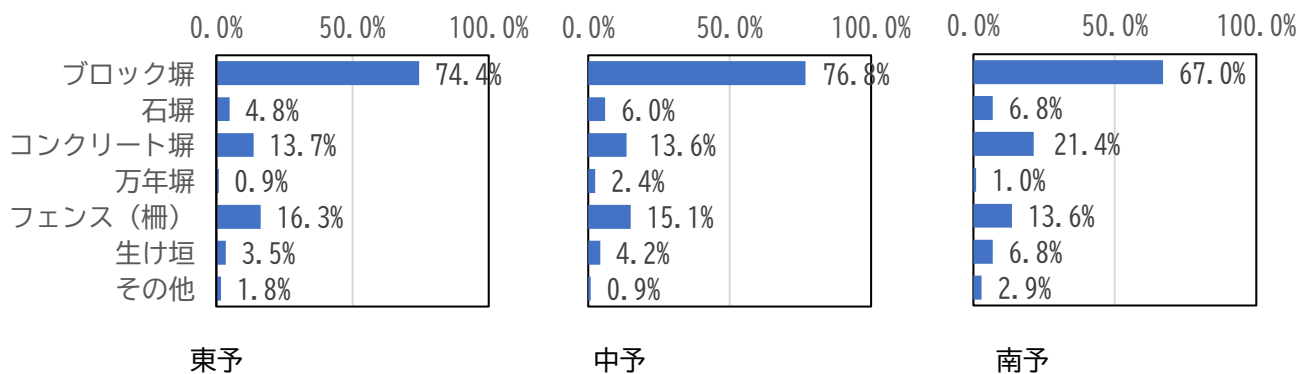
塀があると回答した方の塀の種類は、「ブロック塀」(74.5%)が最も多く、次いで「フェンス(柵)」(15.3%)、「コンクリート塀」(14.8%)が多かった。地域別で、傾向に違いはなかった。

選択肢	数	割合
ブロック塀	493	74.5%
石塀	38	5.7%
コンクリート塀	98	14.8%
万年塀	11	1.7%
フェンス(柵)	101	15.3%
生け垣	29	4.4%
その他	10	1.5%
合計	662	



その他の意見：木材、レンガ、プラスチック など

選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
ブロック塀	169	74.4%	255	76.8%	69	67.0%
石塀	11	4.8%	20	6.0%	7	6.8%
コンクリート塀	31	13.7%	45	13.6%	22	21.4%
万年塀	2	0.9%	8	2.4%	1	1.0%
フェンス(柵)	37	16.3%	50	15.1%	14	13.6%
生け垣	8	3.5%	14	4.2%	7	6.8%
その他	4	1.8%	3	0.9%	3	2.9%
合計	227		332		103	

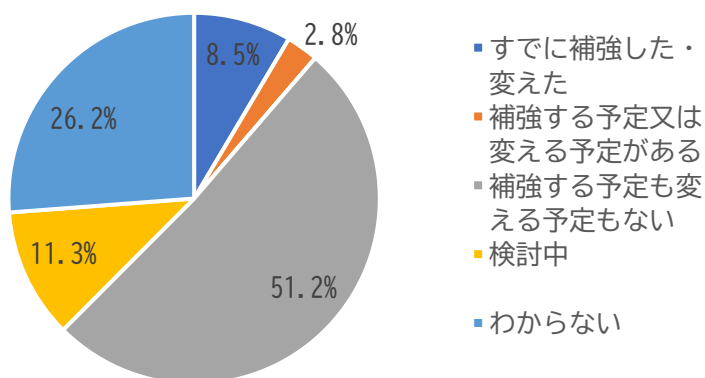


(3) ブロック塀等の対策

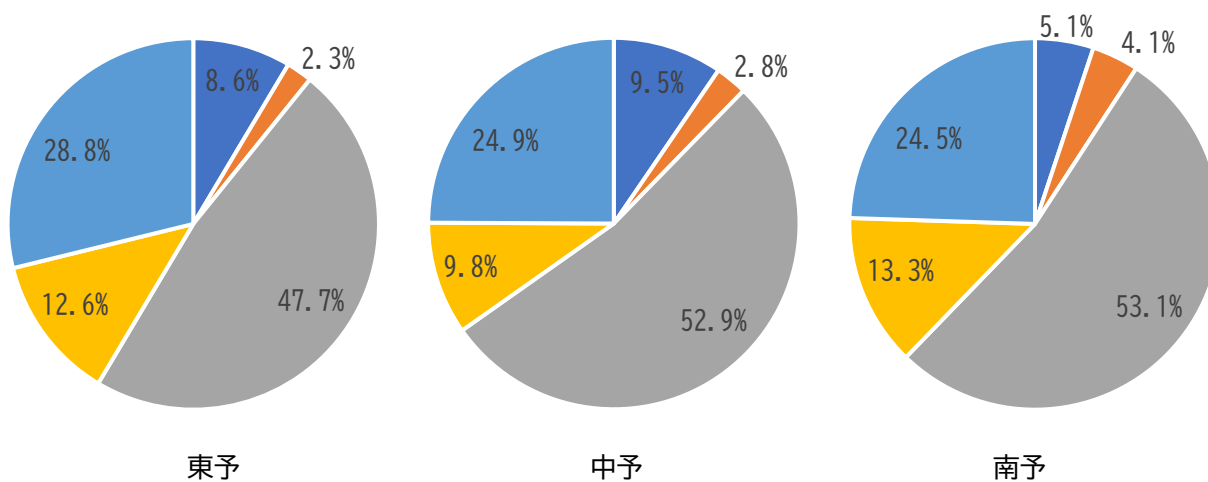
問11-2 お宅では、今後ブロック塀や石塀などを補強したり生け垣などに変える予定はありますか。
(〇は1つ)

ブロック塀等の対策は、「補強する予定も変える予定もない」(51.2%)が最も多く、次いで「わからない」(26.2%)、「検討中」(11.3%)が多かった。地域別で、傾向に違いはなかった。

選択肢	数	割合
すでに補強した・変えた	55	8.5%
補強する予定又は変える予定がある	18	2.8%
補強する予定も変える予定もない	330	51.2%
検討中	73	11.3%
わからない	169	26.2%
合計	645	



地域		すでに補強した		補強する予定がある		補強する予定はない		検討中		わからない	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	19	8.6%	5	2.3%	106	47.7%	28	12.6%	64	28.8%
	中予	31	9.5%	9	2.8%	172	52.9%	32	9.8%	81	24.9%
	南予	5	5.1%	4	4.1%	52	53.1%	13	13.3%	24	24.5%



2.2.6. 地域との関わり合いや地域協力

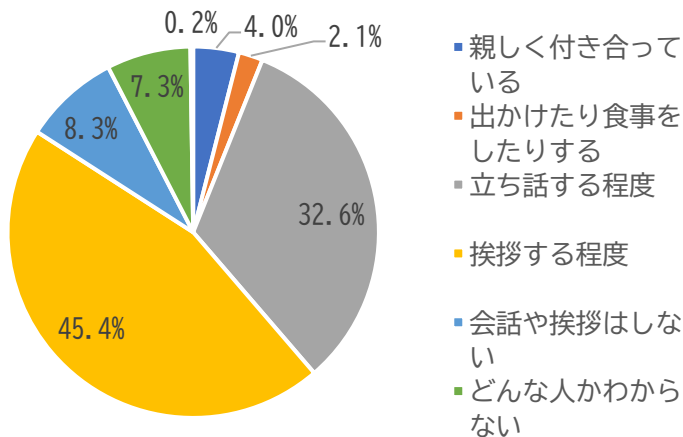
(1) 近隣の人との付き合い

問 12 あなたと近隣の人との付き合いとして、最も近いものを教えてください。(○は1つ)

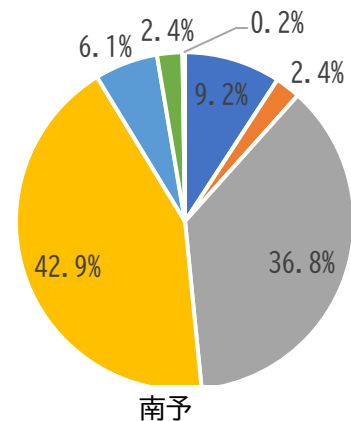
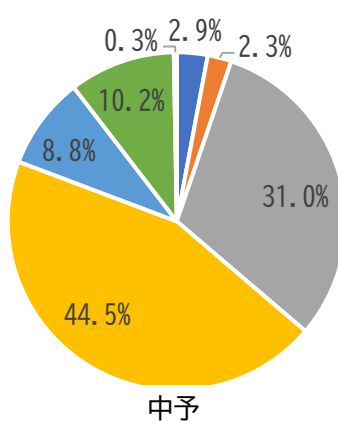
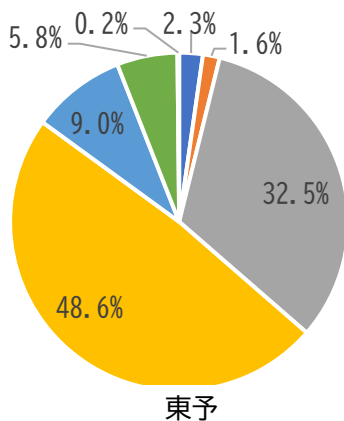
近隣の人との付き合いは、「出会ったときに挨拶する程度」(45.4%)が最も多く、次いで「立ち話をする程度」(32.6%)が多かった。挨拶をする以上の顔の見える関係を築いている回答が8割以上あり、地区別では南予地域では9割以上あった。

選択肢	数	割合
家族のように親しく付き合っている	83	4.0%
一緒に出かけたり食事をしたりする	44	2.1%
立ち話などをする程度	681	32.6%
出会ったときに挨拶する程度	948	45.4%
お互いほとんど会話や挨拶はしない	174	8.3%
どんな人がいるのかもわからない	153	7.3%
その他	5	0.2%
合計	2,088	

その他の意見：仲の良い人もそうでない人もいる、近所に人がいないなど



地域		親しく付き合っている		出かけたり食事をしたり		立ち話する程度		挨拶する程度		会話や挨拶はしない		どんな人がわからない		その他	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	14	2.3%	10	1.6%	202	32.5%	302	48.6%	56	9.0%	36	5.8%	1	0.2%
	中予	31	2.9%	24	2.3%	327	31.0%	469	44.5%	93	8.8%	107	10.2%	3	0.3%
	南予	38	9.2%	10	2.4%	152	36.8%	177	42.9%	25	6.1%	10	2.4%	1	0.2%



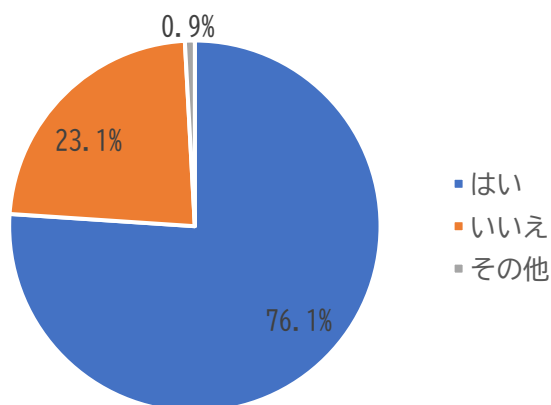
(2) 町内会・自治会への加入

問 13 あなたのお宅は、町内会あるいは自治会に加入していますか。(○は1つ)

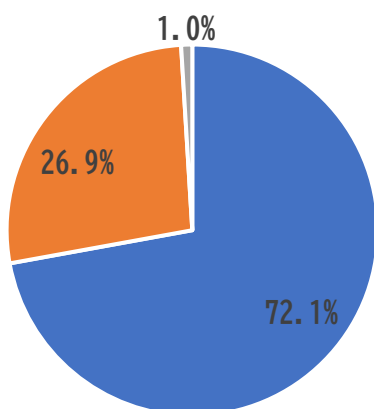
町内会あるいは自治会への加入状況は、「加入している」(76.1%)が多かった。地域別で、傾向に違いが見られないものの、東予地域の加入していない人が全体に比べて4ポイントほど多かった。

選択肢	数	割合
はい	1,588	76.1%
いいえ	482	23.1%
その他	18	0.9%
合計	2,088	

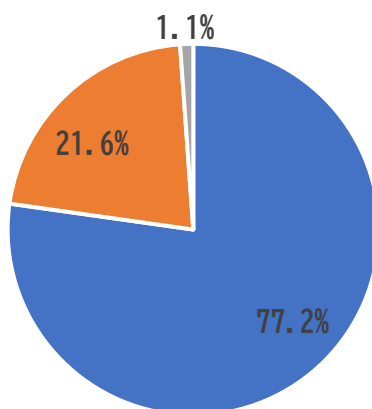
その他の意見：管理組合、入っているが交流はない、町内会費を払っているが行事等には参加していない など



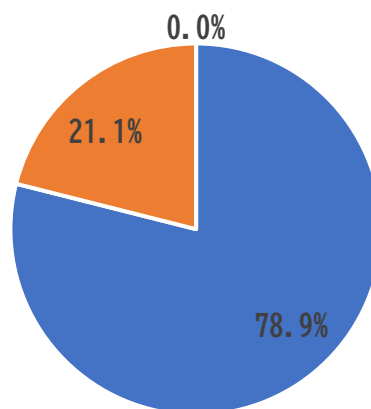
		はい		いいえ		その他	
		数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	448	72.1%	167	26.9%	6	1.0%
	中予	814	77.2%	228	21.6%	12	1.1%
	南予	326	78.9%	87	21.1%	0	0.0%



東予



中予



南予

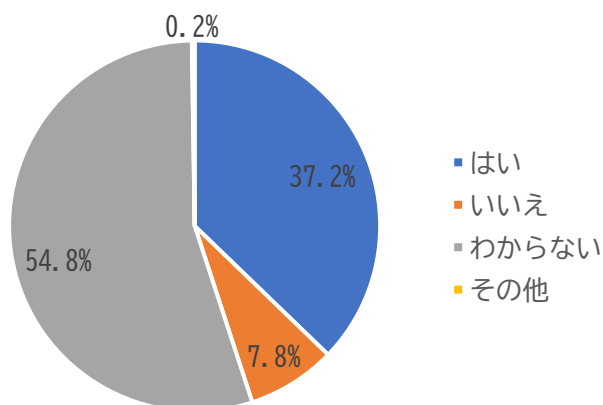
(3) 自主防災組織の有無

問 14 あなたのお住いの地域に自主防災組織はありますか。(○は1つ)

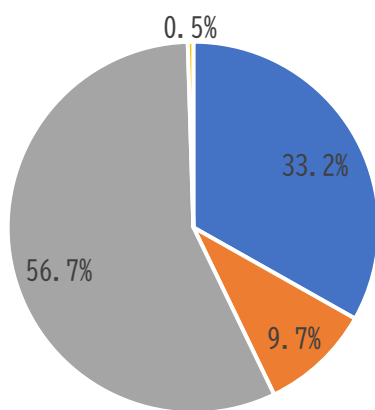
自主防災組織の有無は、「わからない」(54.8%)が最も多く、半数以上が地域に自主防災組織があるかを認識していなかった。地域別では、南予が認識している人が約半数おり、「わからない」が全体に比べて10ポイントほど少なかった。

選択肢	数	割合
はい	777	37.2%
いいえ	162	7.8%
わからない	1,144	54.8%
その他	5	0.2%
合計	2,088	

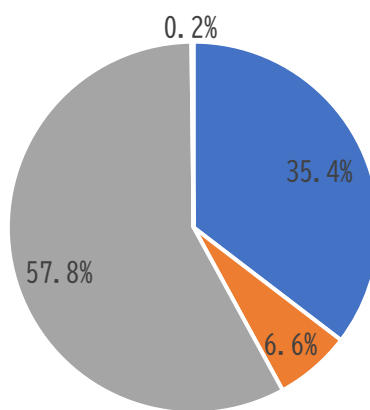
その他の意見：組織はあるが活動していない、組織はないが啓発活動をしている など



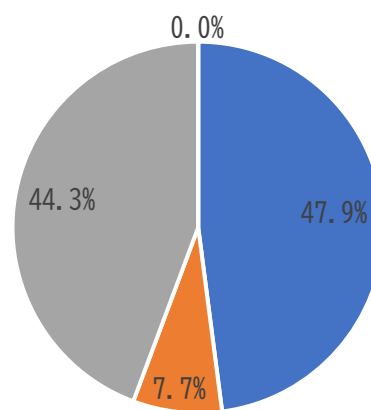
		はい		いいえ		わからない		その他	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	206	33.2%	60	9.7%	352	56.7%	3	0.5%
	中予	373	35.4%	70	6.6%	609	57.8%	2	0.2%
	南予	198	47.9%	32	7.7%	183	44.3%	0	0.0%



東予



中予



南予

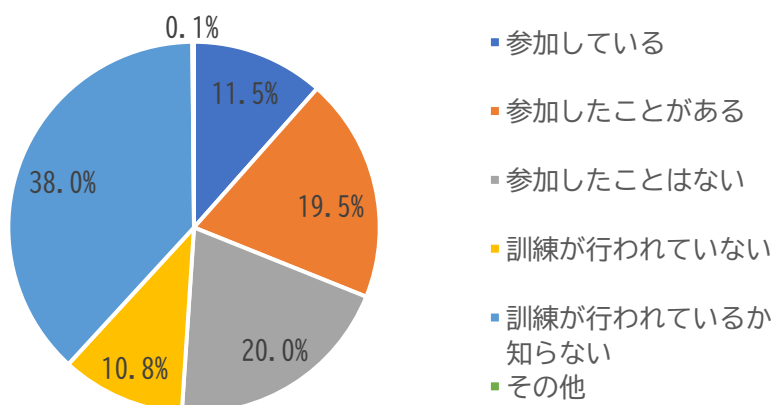
(4) 防災訓練への参加状況

問 15 町内会や自治会、自主防災組織などにおいて住民の自主的な防災訓練などが行われていることがあります。あなたは、このような活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

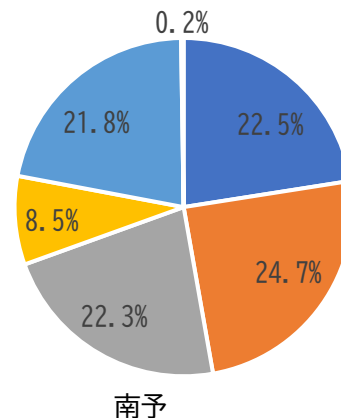
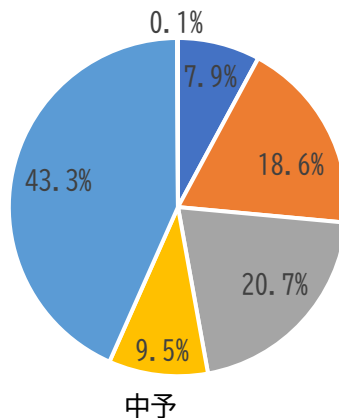
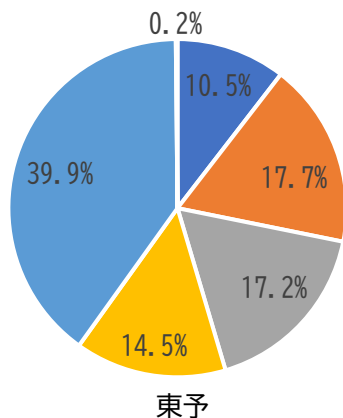
防災訓練への参加状況は、「防災訓練が行われているのか知らない」(38.0%)が最も多く、次いで「防災訓練は行われているが、参加したことはない」(20.0%)が多かった。「参加している」または「参加したことがある」は、3割ほどだった。地域別では、南予が「参加している」または「参加したことがある」が約5割と全体と比べて多かった。

選択肢	数	割合
いつも参加している	241	11.5%
以前、参加したことがある	408	19.5%
防災訓練などは行われているが、参加したことはない	417	20.0%
防災訓練などは行われていない	225	10.8%
防災訓練などが行われているのか知らない	794	38.0%
その他	3	0.1%
合計	2,088	

その他の意見：参加できるときにしている など



地域		いつも参加している		参加したことがある		参加したことはない		訓練が行われていない		訓練しているか知らない		その他	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	65	10.5%	110	17.7%	107	17.2%	90	14.5%	248	39.9%	1	0.2%
	中予	83	7.9%	196	18.6%	218	20.7%	100	9.5%	456	43.3%	1	0.1%
	南予	93	22.5%	102	24.7%	92	22.3%	35	8.5%	90	21.8%	1	0.2%

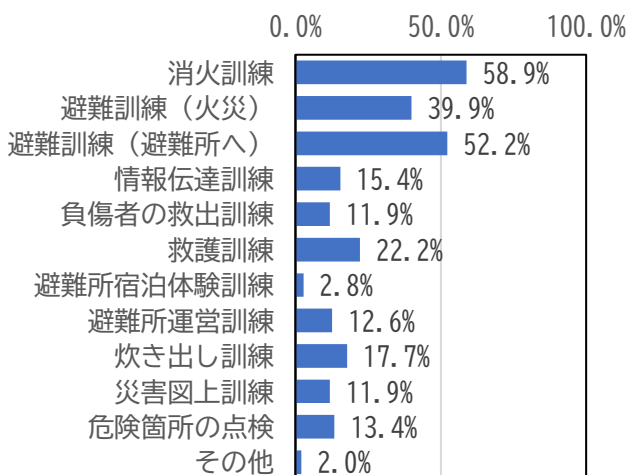


(5) 参加したことがある防災訓練

問 15-1 あなたは以下のような防災訓練に参加したことがありますか。(参加したことがある番号すべてに○)

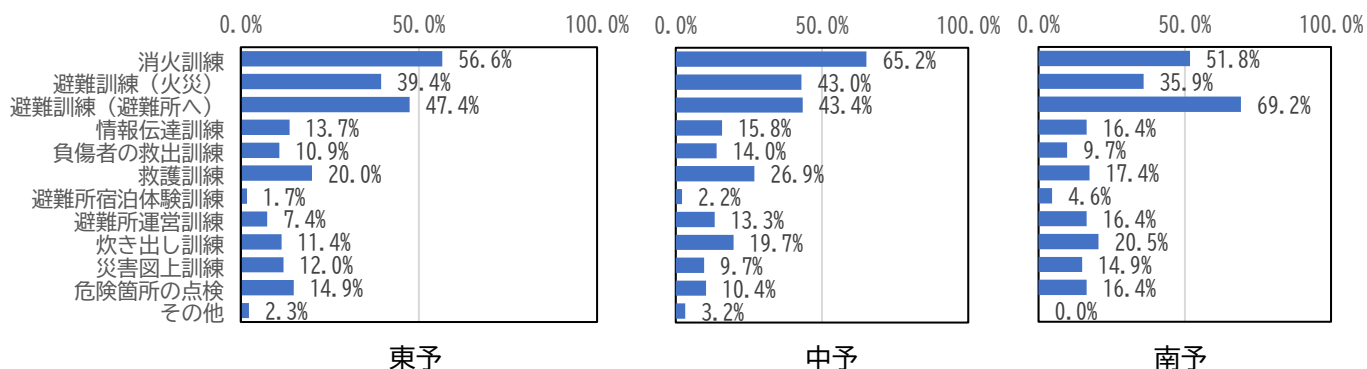
参加したことがある訓練は、「消火訓練」(58.9%)が最も多く、次いで「避難訓練(避難所への避難)」(52.2%)、「避難訓練(火災等からの避難)」(39.9%)が多かった。地域別では、南予のみ「避難訓練(避難所への避難)」(69.2%)が最も多かった。

選択肢	数	割合
消火訓練	382	58.9%
避難訓練(火災等)	259	39.9%
避難訓練(避難所へ)	339	52.2%
情報伝達訓練	100	15.4%
負傷者の救出訓練	77	11.9%
救護訓練	144	22.2%
避難所宿泊体験訓練	18	2.8%
避難所運営訓練	82	12.6%
炊き出し訓練	115	17.7%
災害図上訓練	77	11.9%
地域内の危険箇所の点検	87	13.4%
その他	13	2.0%
合計	649	



その他の意見：避難所のトイレ設営訓練、防災資機材の取り扱い、備蓄品の確認、心肺蘇生 など

選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
消火訓練	99	56.6%	182	65.2%	101	51.8%
避難訓練(火災等からの避難)	69	39.4%	120	43.0%	70	35.9%
避難訓練(避難所への避難)	83	47.4%	121	43.4%	135	69.2%
情報伝達訓練	24	13.7%	44	15.8%	32	16.4%
負傷者の救出訓練	19	10.9%	39	14.0%	19	9.7%
救護訓練	35	20.0%	75	26.9%	34	17.4%
避難所宿泊体験訓練	3	1.7%	6	2.2%	9	4.6%
避難所運営訓練	13	7.4%	37	13.3%	32	16.4%
炊き出し訓練	20	11.4%	55	19.7%	40	20.5%
災害図上訓練	21	12.0%	27	9.7%	29	14.9%
地域内の危険箇所の点検	26	14.9%	29	10.4%	32	16.4%
その他	4	2.3%	9	3.2%	0	0.0%

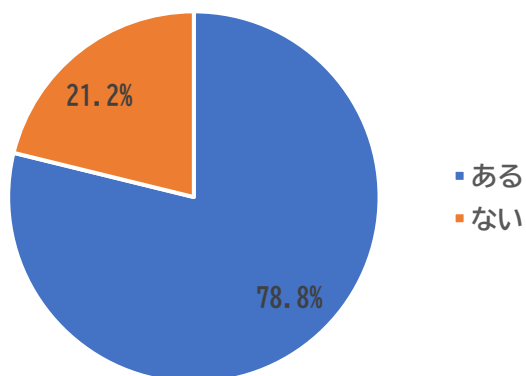


(6) 住まいの地域のイベント

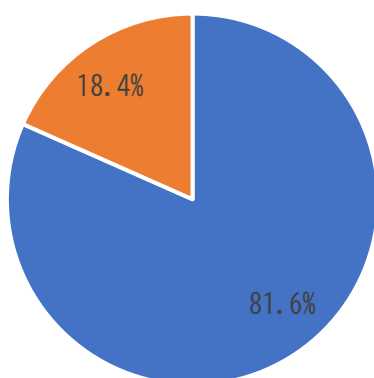
問 16 あなたのお住いの地域には、住民の多くの方が参加するような祭りや伝統行事、イベントなどがありますか。(○は1つ)

祭りなどの住民の多くが参加するイベントの有無は、「ある」(78.8%) が最も多かった。地域別で、傾向に違いはなかった。

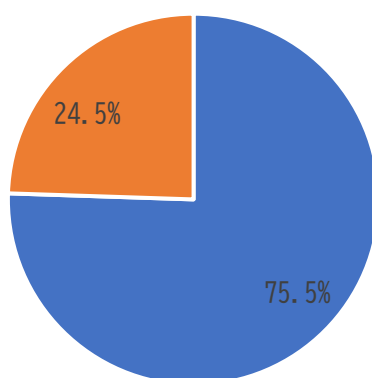
選択肢	数	割合
ある	1,646	78.8%
ない	442	21.2%
合計	2,088	



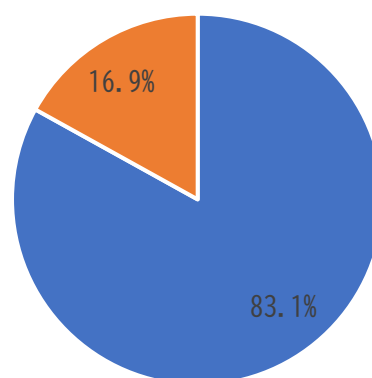
		ある		ない	
		数	割合	数	割合
地域	東予	507	81.6%	114	18.4%
	中予	796	75.5%	258	24.5%
	南予	343	83.1%	70	16.9%



東予



中予



南予

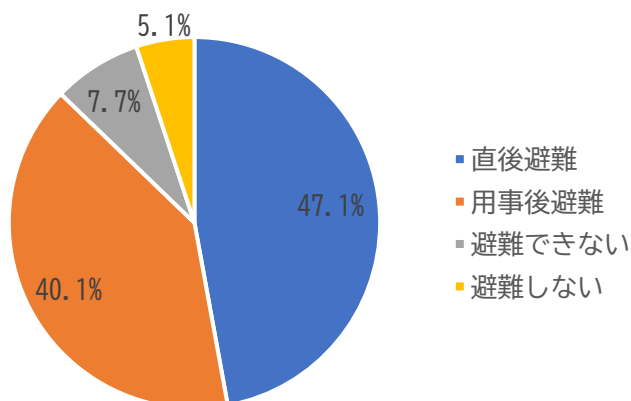
2.2.7. 津波からの避難

(1) 津波避難意識

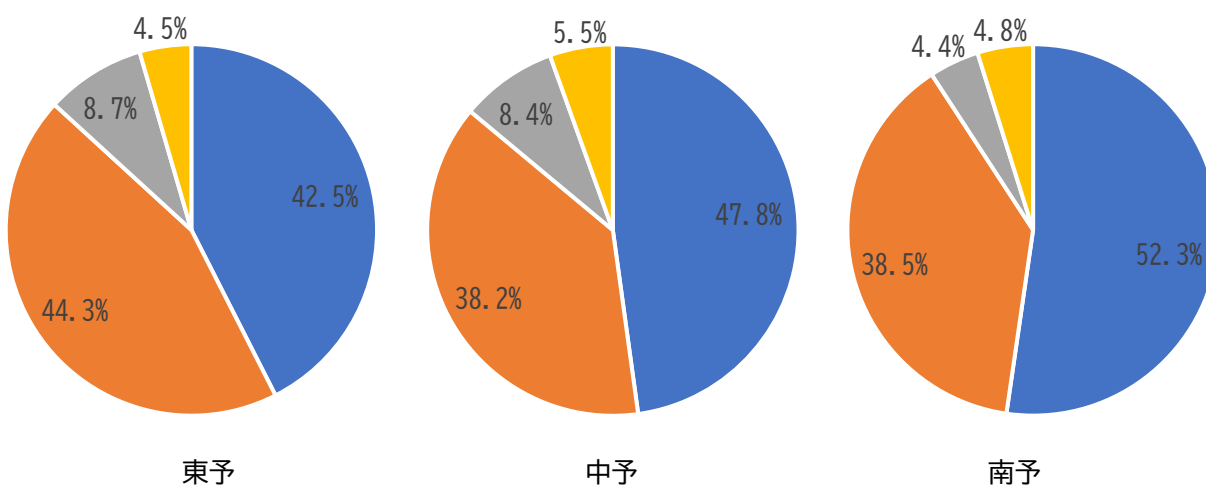
問 18 平日の昼間、突然今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われました。揺れは約3分間続き、その最中に大津波警報等が発表されたとします。このとき、あなた自身はどのような行動をとりますか。(○は1つ)

津波避難意識は、「直後避難」(47.1%)が最も多いものの、「用事後避難」(40.1%)と同程度であった。地域別で、傾向に違いはないものの、南予では「直後避難」が半数以上であった。

選択肢	数	割合
揺れが収まった直後にすぐに避難する	984	47.1%
揺れが収まった後、すぐに避難せず何らかの行動を終えてから避難する	837	40.1%
避難すべきと思うものの、避難できない	161	7.7%
避難しない	106	5.1%
合計	2,088	

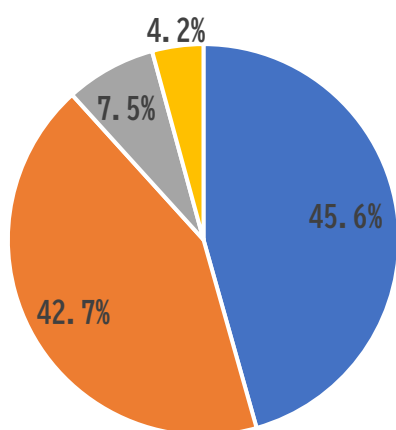


地域		直後避難		用事後避難		避難できない		避難しない	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	264	42.5%	275	44.3%	54	8.7%	28	4.5%
	中予	504	47.8%	403	38.2%	89	8.4%	58	5.5%
	南予	216	52.3%	159	38.5%	18	4.4%	20	4.8%

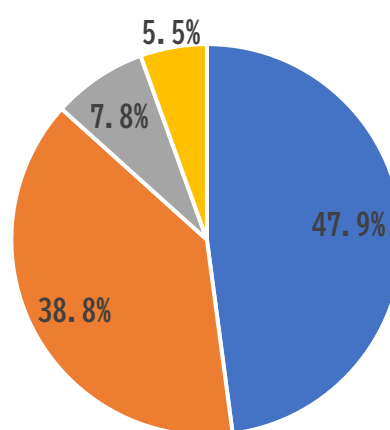


居住地の津波浸水の有無別では、傾向に違いはないものの、津波浸水なしのほうが直後避難の割合が多かった。これは、内陸部の住民は沿岸滞在中であれば、家財の持出しや家族の安否確認の行動が不要となり、避難行動が単純化され、「直後避難」の回答割合が高くなったと考えられる。

		直後避難		用事後避難		避難できない		避難しない	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
津波浸水	あり	323	45.6%	302	42.7%	53	7.5%	30	4.2%
	なし	661	47.9%	535	38.8%	108	7.8%	76	5.5%



東予



中予

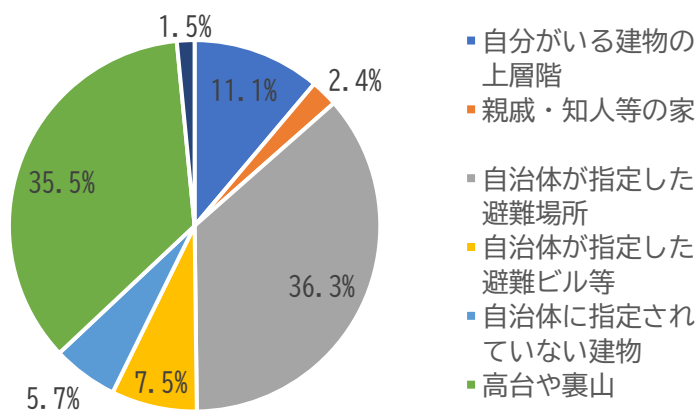
(2) 津波からの避難先

問 19 あなたは津波から避難するためにどこを目指しますか。(○は1つ)

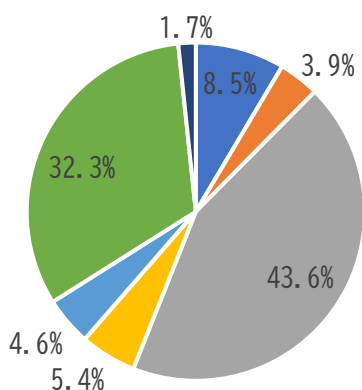
津波からの避難先は、「自治体が指定した避難場所」(36.3%)が最も多く、次いで「高台や裏山」(35.5%)が多かった。地域別で、傾向に違いはないものの、南予では高台や裏山の割合が全体よりも10ポイントほど高い。

選択肢	数	割合
自分がいる建物の上層階	203	11.1%
親戚・知人等の家	43	2.4%
自治体が指定した避難場所(学校など)	661	36.3%
自治体が指定した避難ビル・避難タワー	136	7.5%
自治体に指定されていない近くの高い建物	104	5.7%
高台や裏山	646	35.5%
その他	28	1.5%
合計	1,821	

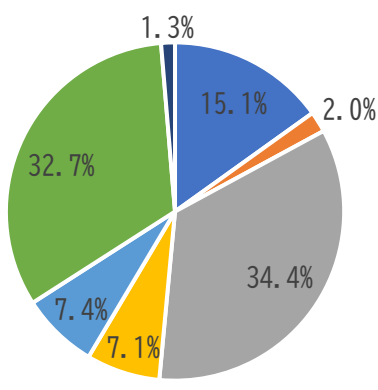
その他の意見：近隣のマンション、職場 など



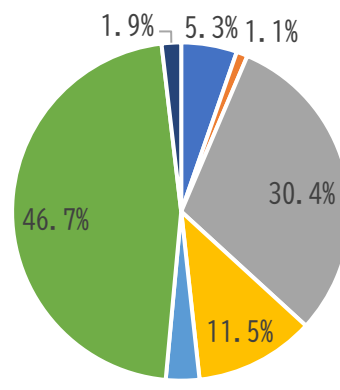
地域		自宅の上		親戚・知人宅		指定避難場所		避難ビル・タワー		高い建物		高台や裏山		その他	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
地域	東予	46	8.5%	21	3.9%	235	43.6%	29	5.4%	25	4.6%	174	32.3%	9	1.7%
	中予	137	15.1%	18	2.0%	312	34.4%	64	7.1%	67	7.4%	297	32.7%	12	1.3%
	南予	20	5.3%	4	1.1%	114	30.4%	43	11.5%	12	3.2%	175	46.7%	7	1.9%



東予



中予



南予

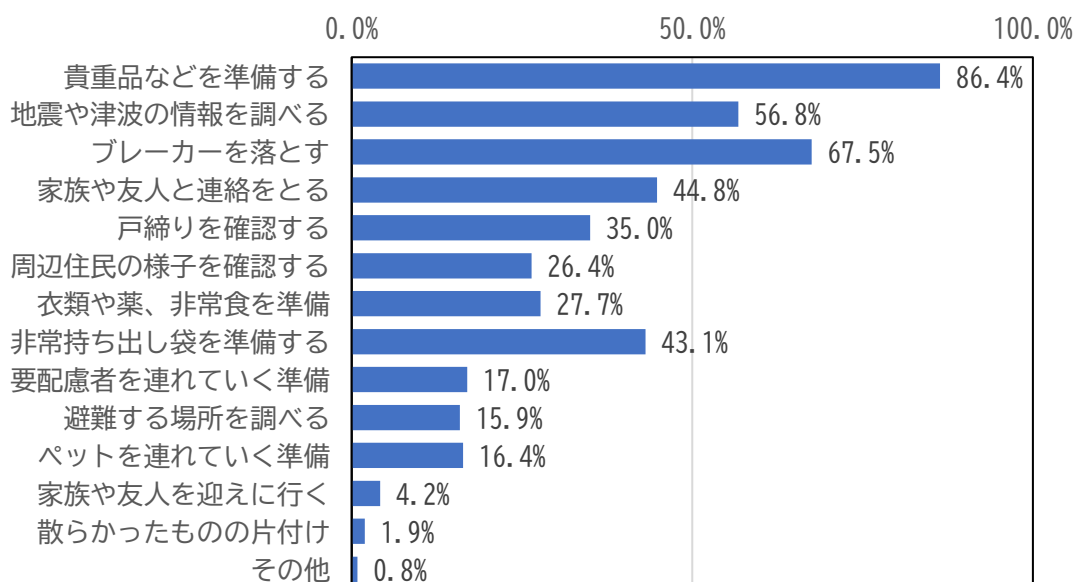
(3) 津波避難場所に向かう前の行動

問 20 地震が発生してから、津波避難場所に向かう前に、あなたは何をしたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

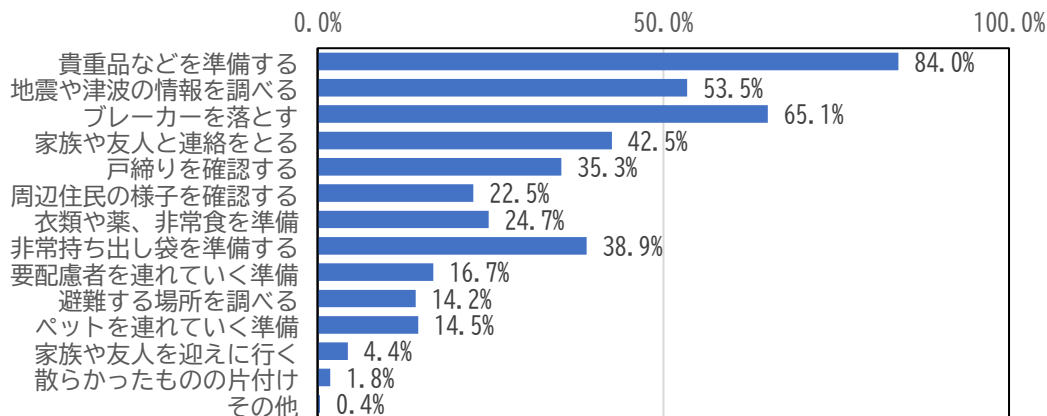
津波避難場所に向かう前の行動は、「貴重品などを準備する」(86.4%)が最も多かった。地域別で傾向に違いはない。

選択肢	数	割合
貴重品や携帯電話・スマートフォンなどを準備する	723	86.4%
地震や津波の情報を調べる	475	56.8%
火の始末をしたり、ブレーカーを落としたりする	565	67.5%
家族や友人などと連絡を取る(または取ろうとする)	375	44.8%
窓や勝手口などの戸締りを確認する	293	35.0%
周辺住民の様子を確認する	221	26.4%
事前にまとめていないグッズ(衣類や薬、水、非常食など)を準備する	232	27.7%
事前にまとめてあるグッズ(非常持ち出し袋など)を準備する	361	43.1%
同居している要配慮者を連れて行くための準備をする	142	17.0%
避難する場所を調べる	133	15.9%
ペットを連れて行くための準備をする	137	16.4%
別の場所に住んでいる家族や友人などを迎えに行く	35	4.2%
散らばったものの後片付けをする	16	1.9%
その他	7	0.8%
合計	837	

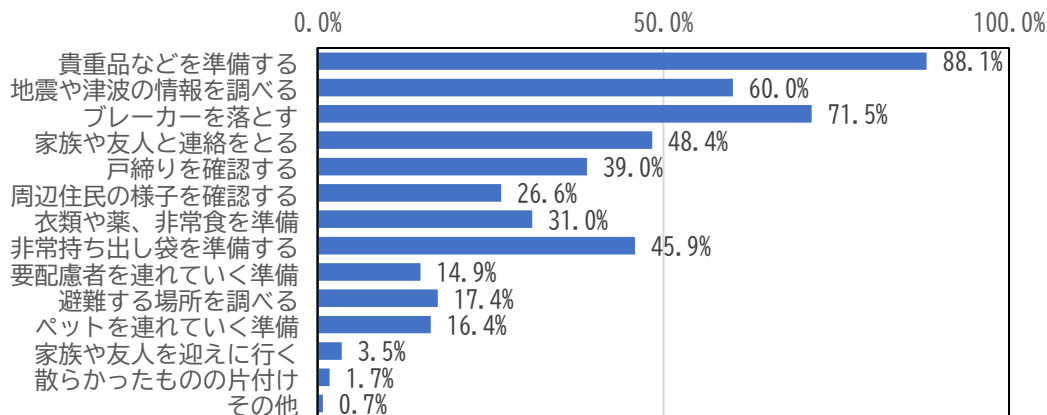
その他の意見：薬の準備、周囲の安全確認 など



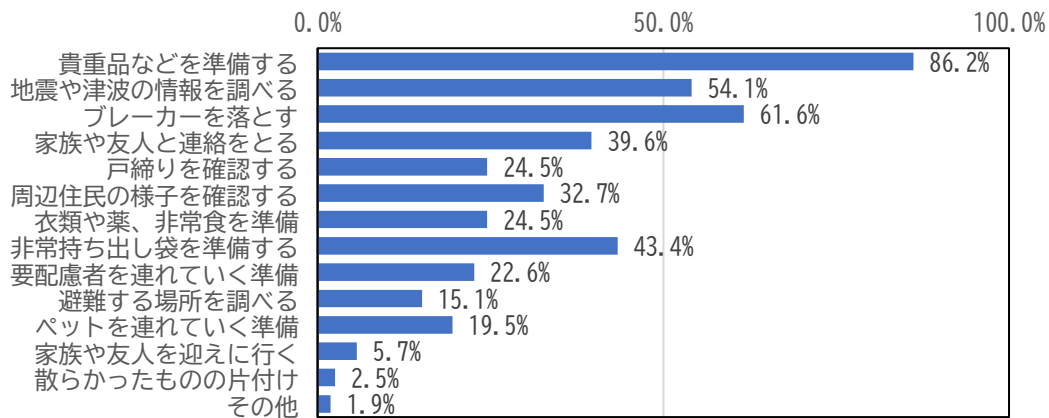
選択肢	数	割合
貴重品や携帯電話・スマートフォンなどを準備する	231	84.0%
地震や津波の情報を調べる	147	53.5%
火の始末をしたり、ブレーカーを落としたりする	179	65.1%
家族や友人などと連絡を取る（または取ろうとする）	117	42.5%
窓や勝手口などの戸締りを確認する	97	35.3%
周辺住民の様子を確認する	62	22.5%
事前にまとめていないグッズ（衣類や薬、水、非常食など）を準備する	68	24.7%
事前にまとめてあるグッズ（非常持ち出し袋など）を準備する	107	38.9%
同居している要配慮者を連れて行くための準備をする	46	16.7%
避難する場所を調べる	39	14.2%
ペットを連れて行くための準備をする	40	14.5%
別の場所に住んでいる家族や友人などを迎えに行く	12	4.4%
散らばったものの後片付けをする	5	1.8%
その他	1	0.4%
合計	275	



選択肢	数	割合
貴重品や携帯電話・スマートフォンなどを準備する	355	88.1%
地震や津波の情報を調べる	242	60.0%
火の始末をしたり、ブレーカーを落としたりする	288	71.5%
家族や友人などと連絡を取る（または取ろうとする）	195	48.4%
窓や勝手口などの戸締りを確認する	157	39.0%
周辺住民の様子を確認する	107	26.6%
事前にまとめていないグッズ（衣類や薬、水、非常食など）を準備する	125	31.0%
事前にまとめてあるグッズ（非常持ち出し袋など）を準備する	185	45.9%
同居している要配慮者を連れて行くための準備をする	60	14.9%
避難する場所を調べる	70	17.4%
ペットを連れて行くための準備をする	66	16.4%
別の場所に住んでいる家族や友人などを迎えに行く	14	3.5%
散らばったものの後片付けをする	7	1.7%
その他	3	0.7%
合計	403	



選択肢	数	割合
貴重品や携帯電話・スマートフォンなどを準備する	137	86.2%
地震や津波の情報を調べる	86	54.1%
火の始末をしたり、ブレーカーを落としたりする	98	61.6%
家族や友人などと連絡を取る（または取ろうとする）	63	39.6%
窓や勝手口などの戸締りを確認する	39	24.5%
周辺住民の様子を確認する	52	32.7%
事前にまとめていないグッズ（衣類や薬、水、非常食など）を準備する	39	24.5%
事前にまとめてあるグッズ（非常持ち出し袋など）を準備する	69	43.4%
同居している要配慮者を連れて行くための準備をする	36	22.6%
避難する場所を調べる	24	15.1%
ペットを連れて行くための準備をする	31	19.5%
別の場所に住んでいる家族や友人などを迎えに行く	9	5.7%
散らばったものの後片付けをする	4	2.5%
その他	3	1.9%
合計	159	



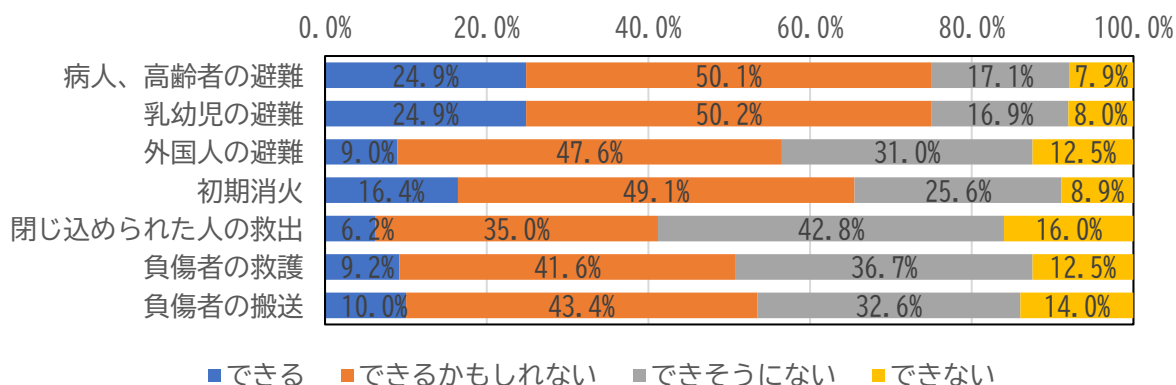
(4) 大地震時の助け合い

問 17 大地震が起きたときには、避難や消火、救助などで隣近所の助け合いや協力が必要となることが考えられます。大地震の後、あなたがけがをしていなかった場合、次のようなことについて助け合いや協力ができそうですか。(a. ~h. それぞれ○は1つ) (h. は当てはまる場合に回答)

大地震時の助け合いは、「病人、高齢者の避難の手助け」、「乳幼児の避難の手助け」、「初期消火」が「できる」または「できるかもしれない」とした割合が7割以上であったが、「倒壊家屋に閉じ込められた人の救出」の「できる」または「できるかもしれない」とした割合が4割ほどと低かった。地域別は、傾向に違いはなかったものの、南予では全体に「できる」または「できるかもしれない」の回答が全体と比べて多かった。

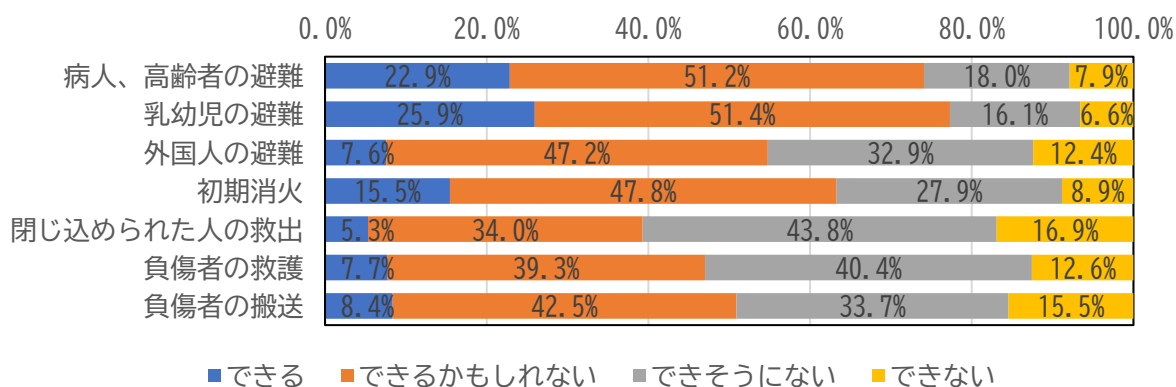
選択肢	できる		できる かもしれない		できそう にない		できない		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
病人、高齢者の避難の手助け	519	24.9%	1,046	50.1%	358	17.1%	165	7.9%	2,088
乳幼児の避難の手助け	519	24.9%	1,048	50.2%	353	16.9%	168	8.0%	2,088
外国人の避難の手助け	187	9.0%	993	47.6%	647	31.0%	261	12.5%	2,088
火災が発生した時の初期消火	343	16.4%	1,025	49.1%	534	25.6%	186	8.9%	2,088
倒壊家屋に閉じ込められた人の救出	129	6.2%	731	35.0%	894	42.8%	334	16.0%	2,088
負傷者の救護（応急手当など）	192	9.2%	869	41.6%	766	36.7%	261	12.5%	2,088
負傷者の搬送	209	10.0%	907	43.4%	680	32.6%	292	14.0%	2,088
その他	47	2.3%	85	4.1%	68	3.3%	221	10.6%	2,088

その他の意見：呼びかけ、避難誘導、避難所運営、応援要請 など



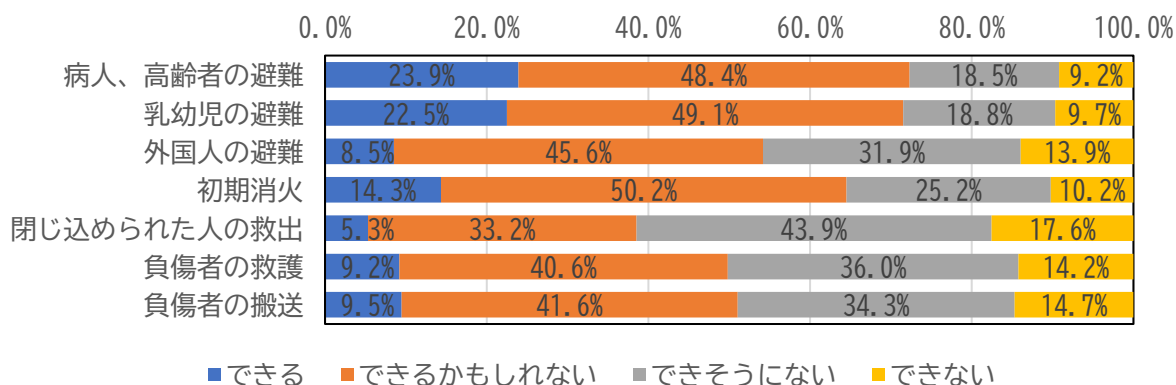
■東予地域

選択肢	できる		できる かもしれない		できそう にない		できない		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
病人、高齢者の避難の手助け	142	22.9%	318	51.2%	112	18.0%	49	7.9%	621
乳幼児の避難の手助け	161	25.9%	319	51.4%	100	16.1%	41	6.6%	621
外国人の避難の手助け	47	7.6%	293	47.2%	204	32.9%	77	12.4%	621
火災が発生した時の初期消火	96	15.5%	297	47.8%	173	27.9%	55	8.9%	621
倒壊家屋に閉じ込められた人の救出	33	5.3%	211	34.0%	272	43.8%	105	16.9%	621
負傷者の救護（応急手当など）	48	7.7%	244	39.3%	251	40.4%	78	12.6%	621
負傷者の搬送	52	8.4%	264	42.5%	209	33.7%	96	15.5%	621
その他	19	3.1%	36	5.8%	21	3.4%	77	12.4%	621



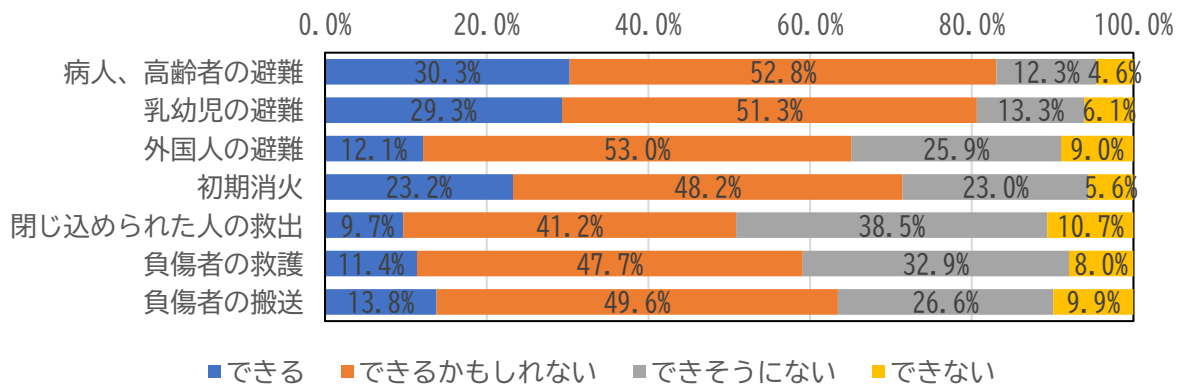
■中予地域

選択肢	できる		できる かもしれない		できそう にない		できない		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
病人、高齢者の避難の手助け	252	23.9%	510	48.4%	195	18.5%	97	9.2%	1,054
乳幼児の避難の手助け	237	22.5%	517	49.1%	198	18.8%	102	9.7%	1,054
外国人の避難の手助け	90	8.5%	481	45.6%	336	31.9%	147	13.9%	1,054
火災が発生した時の初期消火	151	14.3%	529	50.2%	266	25.2%	108	10.2%	1,054
倒壊家屋に閉じ込められた人の救出	56	5.3%	350	33.2%	463	43.9%	185	17.6%	1,054
負傷者の救護（応急手当など）	97	9.2%	428	40.6%	379	36.0%	150	14.2%	1,054
負傷者の搬送	100	9.5%	438	41.6%	361	34.3%	155	14.7%	1,054
その他	19	1.8%	28	2.7%	32	3.0%	102	9.7%	1,054



■南予地域

	できる		できる かもしれない		できそう にない		できない		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
病人、高齢者の避難の手助け	125	30.3%	218	52.8%	51	12.3%	19	4.6%	413
乳幼児の避難の手助け	121	29.3%	212	51.3%	55	13.3%	25	6.1%	413
外国人の避難の手助け	50	12.1%	219	53.0%	107	25.9%	37	9.0%	413
火災が発生した時の初期消火	96	23.2%	199	48.2%	95	23.0%	23	5.6%	413
倒壊家屋に閉じ込められた人の救出	40	9.7%	170	41.2%	159	38.5%	44	10.7%	413
負傷者の救護（応急手当など）	47	11.4%	197	47.7%	136	32.9%	33	8.0%	413
負傷者の搬送	57	13.8%	205	49.6%	110	26.6%	41	9.9%	413
その他	9	2.2%	21	5.1%	15	3.6%	42	10.2%	413

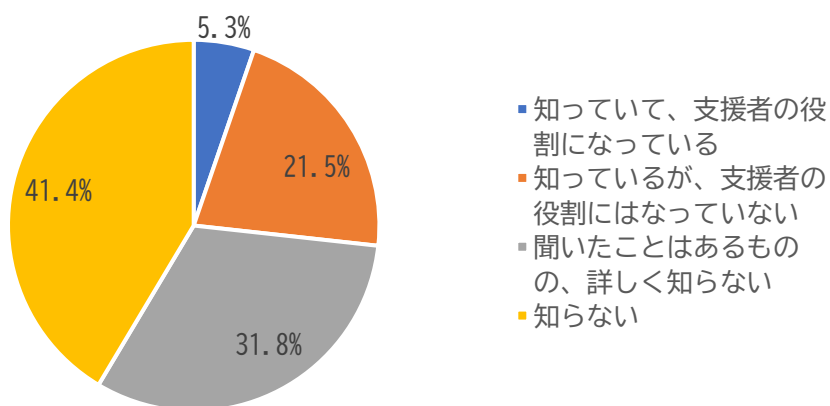


(5) 個別避難計画

問 17-1 高齢者等のうち自力で避難することが困難な人について、あらかじめ、避難先や避難を手伝う人を地域で決めておく「個別避難計画」の作成が求められています。このような、事前に地域での避難支援を定める仕組みがあることを知っていましたか。(〇は1つ)

個別避難計画は、「知らない」(41.4%)と最も多かった。「知っていて、支援者の役割になっている」および「知っているが、支援者の役割にはなっていない」の個別避難計画を知っているとした割合は、4分の1程度にとどまった。

選択肢	数	割合
知っていて、支援者の役割になっている	90	5.3%
知っているが、支援者の役割にはなっていない	367	21.5%
聞いたことはあるものの、詳しく知らない	544	31.8%
知らない	708	41.4%
合計	1,709	



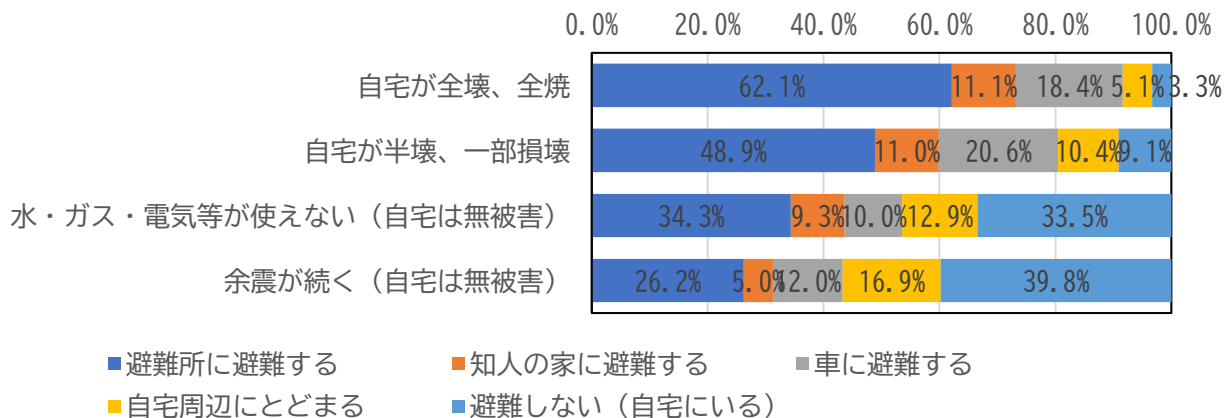
2.2.8. 大地震時が起きたときの行動

(1) 地震直後の避難生活

問 21 大地震が発生した直後、次の a. ~d. のような状況になった場合、あなたはどこで避難生活を送りますか。なお、選択肢 1. の避難所とは自治体が指定する公的な避難所を指します。(それぞれ〇は1つ)

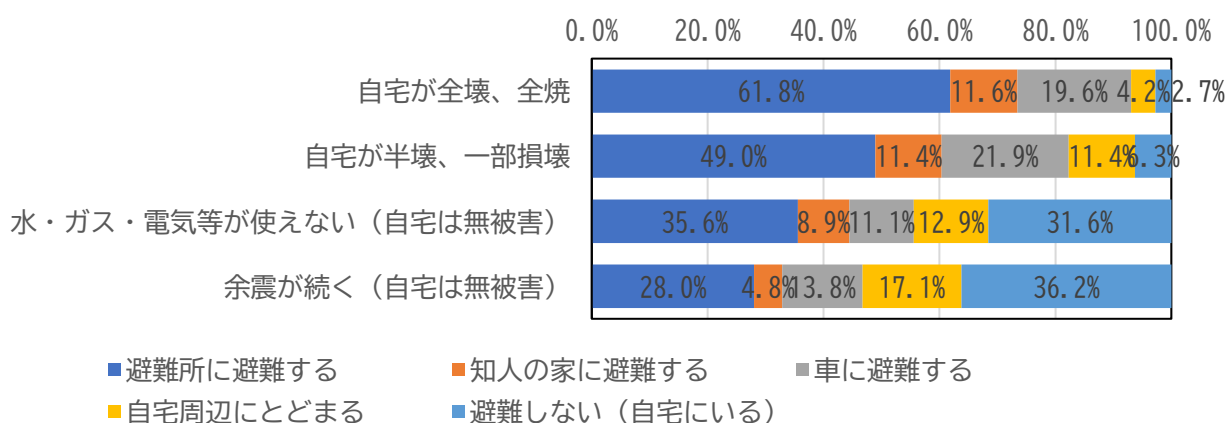
大地震が発生した直後の避難生活を送る場所は、自宅が全壊、全焼している場合は「避難所に避難する」(62.1%)が最も多く、次いで「車に避難する」(18.4%)が多かった。自宅が半壊、一部損壊している場合は「避難所に避難する」(48.9%)が最も多く、次いで「車に避難する」(20.6%)が多かった。水・ガス・電気等が使えない(自宅は無被害)の場合は「避難所に避難する」(34.3%)と「避難しない」(33.5%)が同水準となった。余震が続く場合は「避難しない」(39.8%)が最も多く、次いで「避難所に避難する」(26.2%)が多かった。地域別で傾向に違いはない。

選択肢	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない(自宅にいる)		全体数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	1,297	62.1%	231	11.1%	385	18.4%	106	5.1%	69	3.3%	2,088
自宅が半壊、一部損壊している	1,021	48.9%	229	11.0%	430	20.6%	218	10.4%	190	9.1%	2,088
水・ガス・電気等が使えない(自宅は無被害)	717	34.3%	194	9.3%	208	10.0%	270	12.9%	699	33.5%	2,088
余震が続く(自宅は無被害)	548	26.2%	105	5.0%	251	12.0%	353	16.9%	831	39.8%	2,088



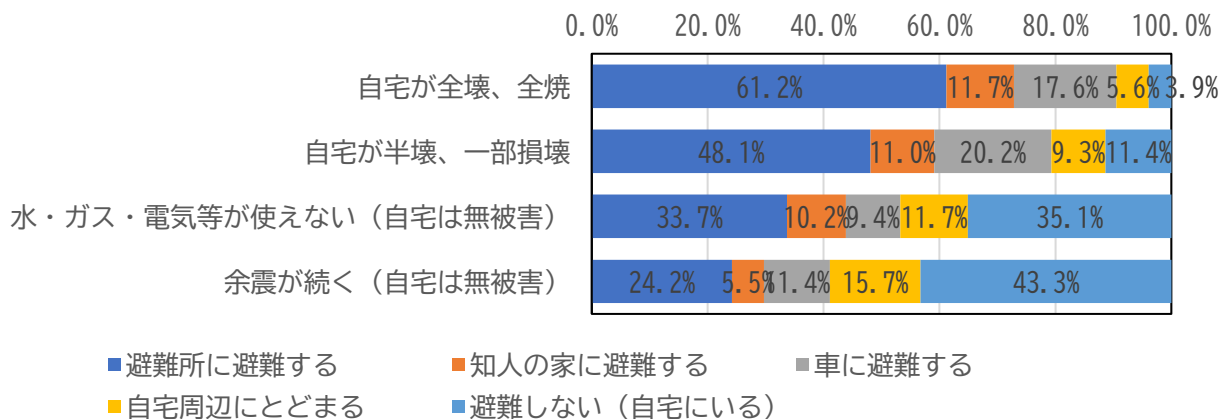
■東予地域

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない (自宅にいる)		全体数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	384	61.8%	72	11.6%	122	19.6%	26	4.2%	17	2.7%	621
自宅が半壊、一部損壊している	304	49.0%	71	11.4%	136	21.9%	71	11.4%	39	6.3%	621
水・ガス・電気等が使えない (自宅は無被害)	221	35.6%	55	8.9%	69	11.1%	80	12.9%	196	31.6%	621
余震が続く (自宅は無被害)	174	28.0%	30	4.8%	86	13.8%	106	17.1%	225	36.2%	621



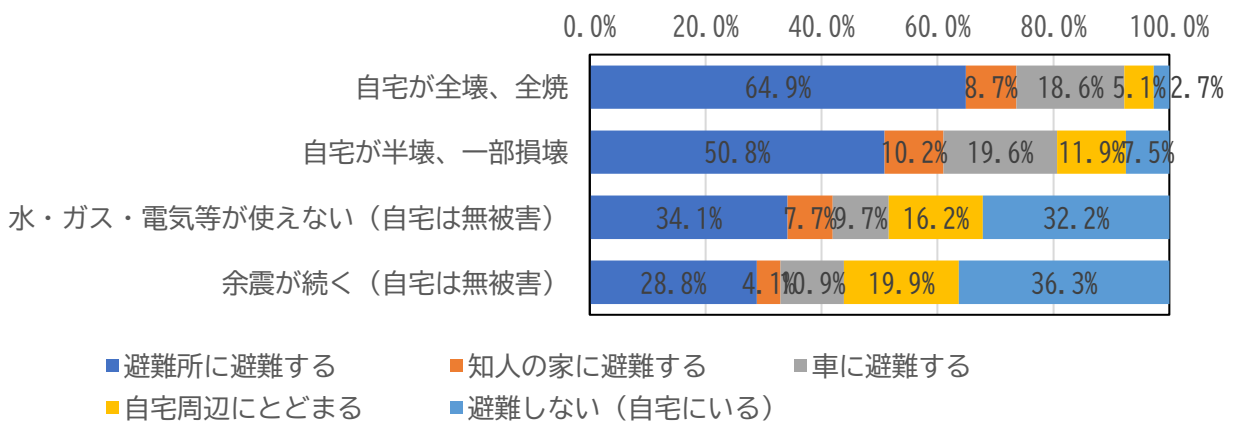
■中予地域

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない (自宅にいる)		全体数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	645	61.2%	123	11.7%	186	17.6%	59	5.6%	41	3.9%	1,054
自宅が半壊、一部損壊している	507	48.1%	116	11.0%	213	20.2%	98	9.3%	120	11.4%	1,054
水・ガス・電気等が使えない (自宅は無被害)	355	33.7%	107	10.2%	99	9.4%	123	11.7%	370	35.1%	1,054
余震が続く (自宅は無被害)	255	24.2%	58	5.5%	120	11.4%	165	15.7%	456	43.3%	1,054



■南予地域

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない (自宅にいる)		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	268	64.9%	36	8.7%	77	18.6%	21	5.1%	11	2.7%	413
自宅が半壊、一部損壊している	210	50.8%	42	10.2%	81	19.6%	49	11.9%	31	7.5%	413
水・ガス・電気等が使えない (自宅は無被害)	141	34.1%	32	7.7%	40	9.7%	67	16.2%	133	32.2%	413
余震が続く (自宅は無被害)	119	28.8%	17	4.1%	45	10.9%	82	19.9%	150	36.3%	413



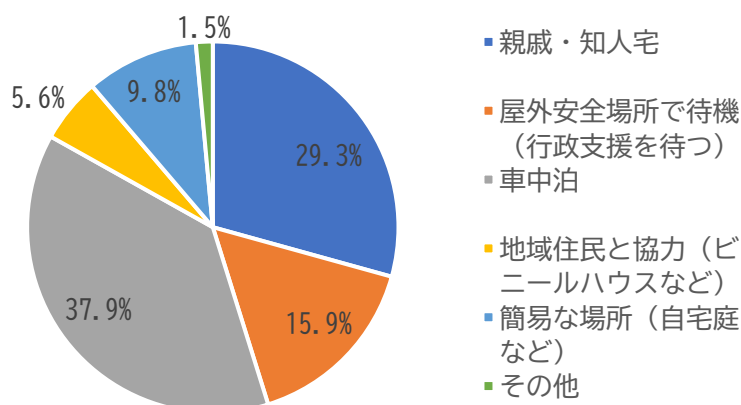
(2) 地震直後の避難所が入れない場合の避難生活

問 21-1 問 21-a (自宅が全壊、全焼している場合) で、「避難所に避難する」をお答えの方に伺います。避難所に避難したが、避難所に入りきれないほどの避難者が押し寄せていた場合、あなたはどのような行動をとりますか。最も近いものをお答えください。

避難所に入れない場合に避難をする場所は、「車中泊」(37.9%)が最も多く、次いで「親戚・知人宅」(29.3%)が多い。地域別で、傾向の違いはない。

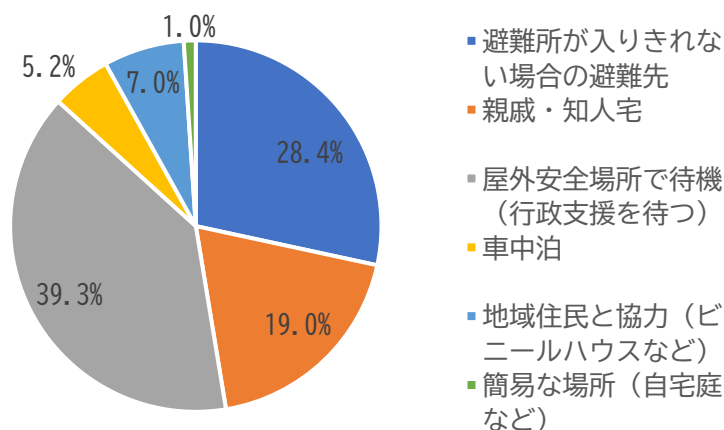
選択肢	数	割合
親戚や知人宅で、避難生活を送れる場所を確保する。(親戚・知人宅避難)	380	29.3%
屋外で安全な場所を見つけて待機する。(行政支援を待つ)	206	15.9%
自家用車で避難生活を送る。(車中泊)	492	37.9%
地域住民と協力し、避難生活を送れる場所を確保する。(ビニールハウスなど)	73	5.6%
簡易的な避難生活を送れる場所を自ら確保する。(自宅庭にテントを張るなど)	127	9.8%
その他	19	1.5%

その他の意見：ホテルを探す、職場へ行く、他県へ行く など



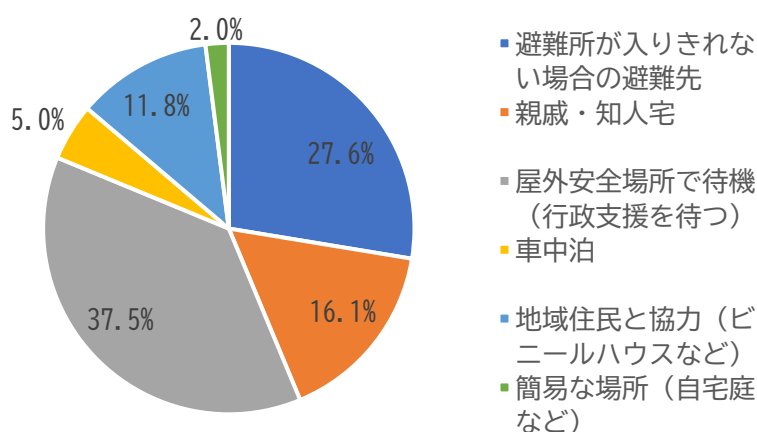
■東予地域

選択肢	数	割合
親戚や知人宅で、避難生活を送れる場所を確保する。(親戚・知人宅避難)	109	28.4%
屋外で安全な場所を見つけて待機する。(行政支援を待つ)	73	19.0%
自家用車で避難生活を送る。(車中泊)	151	39.3%
地域住民と協力し、避難生活を送れる場所を確保する。(ビニールハウスなど)	20	5.2%
簡易的な避難生活を送れる場所を自ら確保する。(自宅庭にテントを張るなど)	27	7.0%
その他	4	1.0%



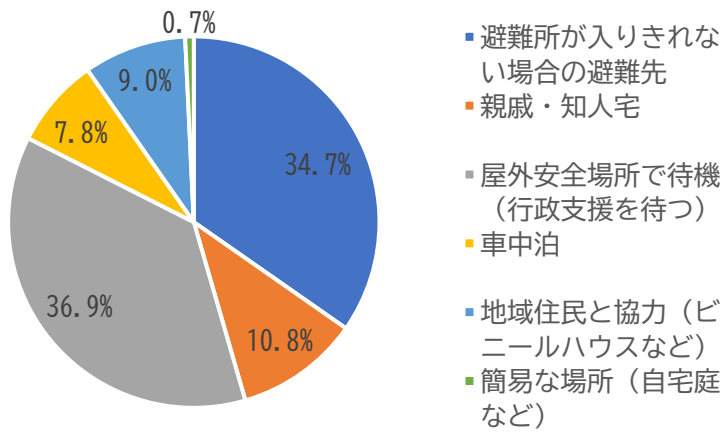
■中予地域

選択肢	数	割合
親戚や知人宅で、避難生活を送れる場所を確保する。(親戚・知人宅避難)	178	27.6%
屋外で安全な場所を見つけて待機する。(行政支援を待つ)	104	16.1%
自家用車で避難生活を送る。(車中泊)	242	37.5%
地域住民と協力し、避難生活を送れる場所を確保する。(ビニールハウスなど)	32	5.0%
簡易的な避難生活を送れる場所を自ら確保する。(自宅庭にテントを張るなど)	76	11.8%
その他	13	2.0%



■南予地域

選択肢	数	割合
親戚や知人宅で、避難生活を送れる場所を確保する。(親戚・知人宅避難)	93	34.7%
屋外で安全な場所を見つけて待機する。(行政支援を待つ)	29	10.8%
自家用車で避難生活を送る。(車中泊)	99	36.9%
地域住民と協力し、避難生活を送れる場所を確保する。(ビニールハウスなど)	21	7.8%
簡易的な避難生活を送れる場所を自ら確保する。(自宅庭にテントを張るなど)	24	9.0%
その他	2	0.7%



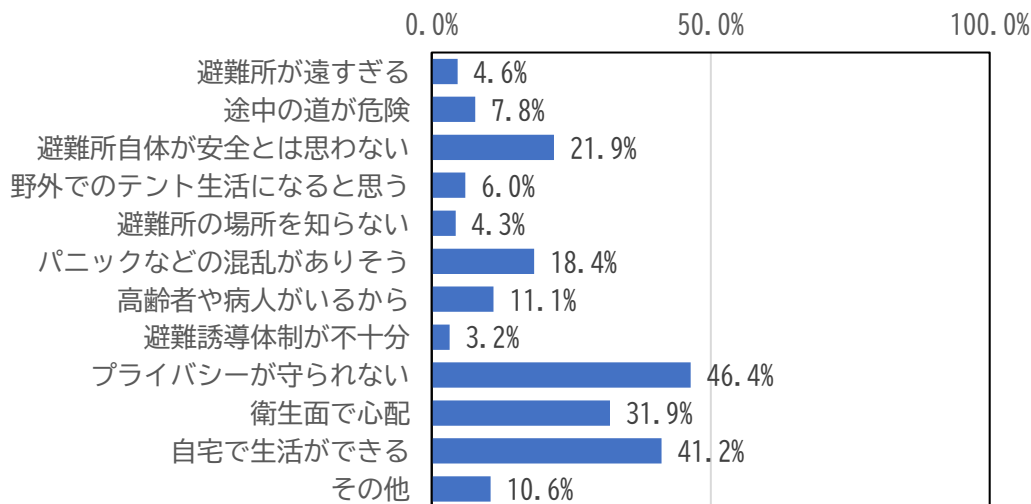
(3) 地震直後の避難所に行かない理由

問 21-2 避難所に行かない主な理由を教えてください。(3つまで選択)

避難所に行かない理由は、「避難所ではプライバシーが守れないから」(46.4%)が最も多く、次いで「自宅で生活ができると思うから」(41.2%)が多かった。

選択肢	数	割合
避難所が遠すぎるから	79	4.6%
避難所へ行く途中の道に危険なところがあるから	133	7.8%
避難所自体が安全だと思わないから	373	21.9%
避難所での生活が野外のテント生活になると思うから	103	6.0%
どこが避難所なのか知らないから	73	4.3%
避難の際、住民の間でパニックなどの混乱が予想されるから	313	18.4%
高齢者や病人がいるから	189	11.1%
自主防災組織などの避難誘導體制が不十分であるから	55	3.2%
避難所ではプライバシーが守れないから	791	46.4%
衛生面で心配だから	544	31.9%
自宅で生活ができると思うから	702	41.2%
その他	180	10.6%
	1704	

その他の意見：ペットがいるから、車椅子だから、体力に不安がある、乳幼児がいる、外国人、自宅に十分な準備がある、人が多いと思う、床に毛布を敷いて寝るのは体が痛くなる など

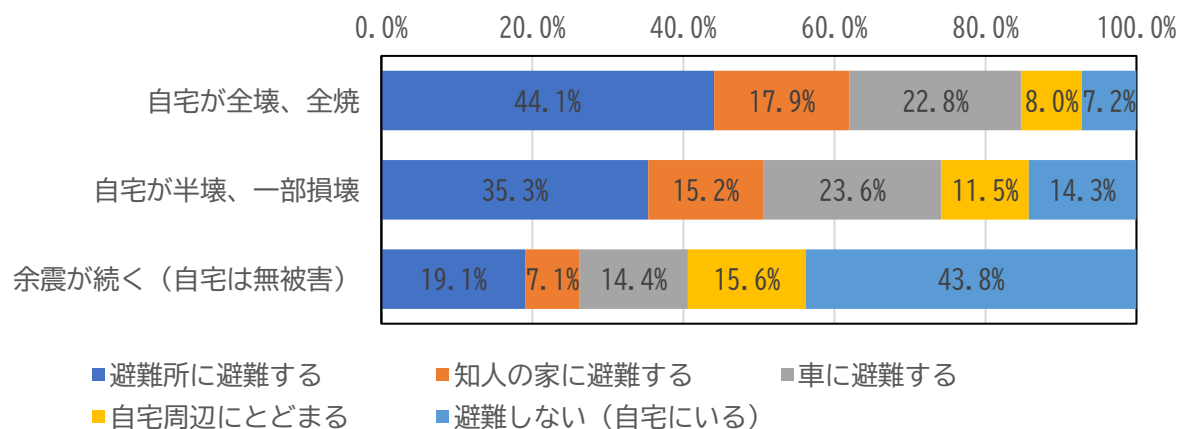


(4) 発災4日後の避難生活

問 22 大地震が発生してから4日後、電気のみが復旧しました。しかし、水道・ガスは使用不可能であり、避難所が混雑しているとします。さらに、あなたが次の a. ~c. のような状況になった場合、どこで避難生活を送りますか。なお、選択肢 1. の避難所とは自治体が指定する公的な避難所を指します。(それぞれ○は1つ)

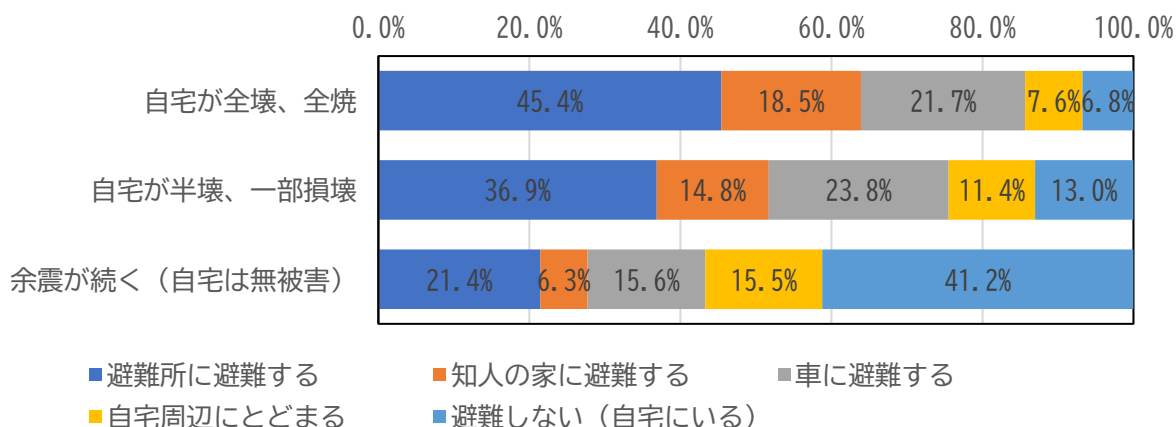
発災4日後に避難生活を送る場所は、自宅が全壊・全焼している場合は「避難所に避難する」(44.1%)が最も多く、次いで「車に避難する」(22.8%)が多かった。自宅が半壊、一部損壊している場合は「避難所に避難する」(35.3%)が最も多く、次いで「車に避難する」(23.6%)が多かった。余震が続く場合は「避難しない(自宅にいる)」(43.8%)が最も多く、次いで「避難所に避難する」(19.1%)が多かった。地域別で、発災4日後に避難生活を送る場所に傾向の違いはない。

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない(自宅にいる)		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	920	44.1%	374	17.9%	476	22.8%	167	8.0%	151	7.2%	2,088
自宅が半壊、一部損壊している	738	35.3%	318	15.2%	493	23.6%	241	11.5%	298	14.3%	2,088
余震が続く(自宅は無被害)	399	19.1%	149	7.1%	300	14.4%	326	15.6%	914	43.8%	2,088



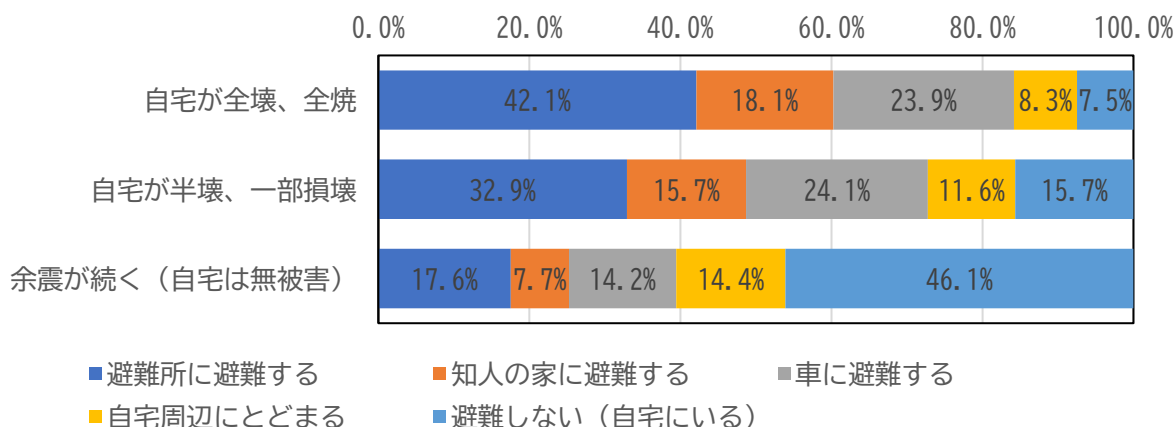
■東予地域

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない（自宅にいる）		全体数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	282	45.4%	115	18.5%	135	21.7%	47	7.6%	42	6.8%	621
自宅が半壊、一部損壊している	229	36.9%	92	14.8%	148	23.8%	71	11.4%	81	13.0%	621
余震が続く（自宅は無被害）	133	21.4%	39	6.3%	97	15.6%	96	15.5%	256	41.2%	621



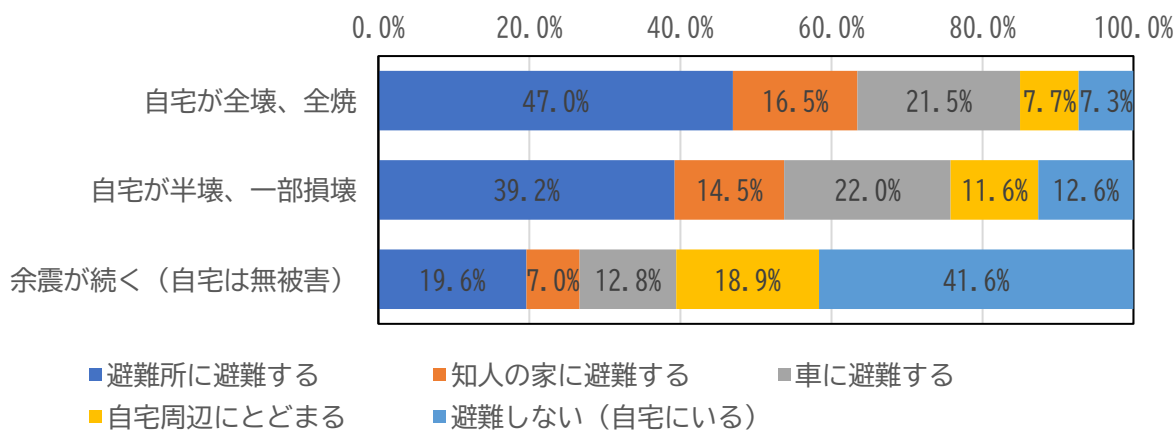
■中予地域

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない（自宅にいる）		全体数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	444	42.1%	191	18.1%	252	23.9%	88	8.3%	79	7.5%	1,054
自宅が半壊、一部損壊している	347	32.9%	166	15.7%	254	24.1%	122	11.6%	165	15.7%	1,054
余震が続く（自宅は無被害）	185	17.6%	81	7.7%	150	14.2%	152	14.4%	486	46.1%	1,054



■南予地域

	避難所に避難する		知人の家に避難する		車に避難する		自宅周辺にとどまる		避難しない (自宅にいる)		全体 数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
自宅が全壊、全焼している	194	47.0%	68	16.5%	89	21.5%	32	7.7%	30	7.3%	413
自宅が半壊、一部損壊している	162	39.2%	60	14.5%	91	22.0%	48	11.6%	52	12.6%	413
余震が続く (自宅は無被害)	81	19.6%	29	7.0%	53	12.8%	78	18.9%	172	41.6%	413



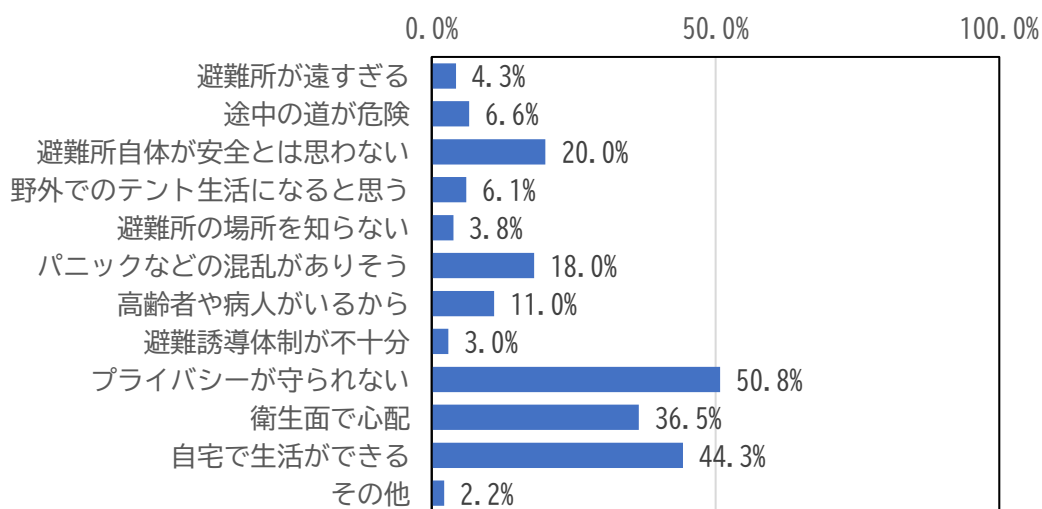
(5) 発災4日後の避難所に行かない理由

問 22-1 避難所に行かない主な理由を教えてください。(3つまで選択)

避難所に行かない主な理由は、「プライバシーが守られない」(50.8%)が最も多く、ついで、「自宅で生活ができる」(44.3%)、「衛生面で心配」(36.5%)が多かった。地域別で、傾向に違いはない。

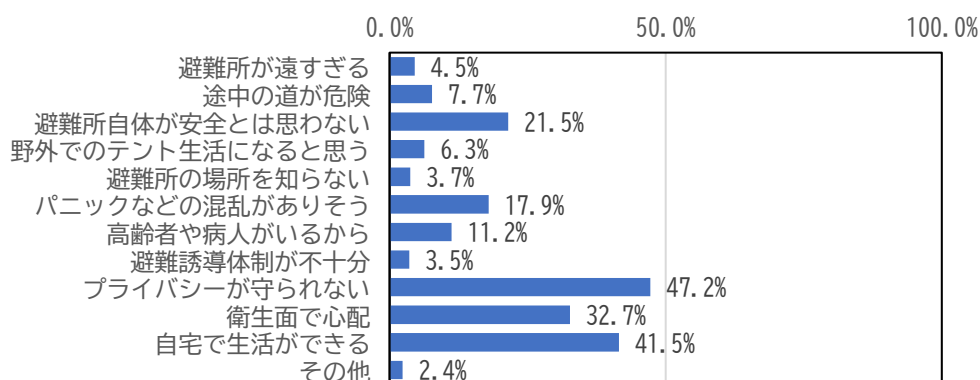
選択肢	数	割合
避難所が遠すぎるから	75	4.3%
避難所へ行く途中の道に危険なところがあるから	116	6.6%
避難所自体が安全だと思わないから	353	20.0%
避難所での生活が野外のテント生活になると思うから	107	6.1%
どこが避難所なのか知らないから	67	3.8%
避難の際、住民の間でパニックなどの混乱が予想されるから	318	18.0%
高齢者や病人がいるから	194	11.0%
自主防災組織などの避難誘導體制が不十分であるから	52	3.0%
避難所ではプライバシーが守れないから	895	50.8%
衛生面で心配だから	643	36.5%
自宅で生活ができると思うから	780	44.3%
その他	39	2.2%
合計	1,762	

その他の意見：ペットがいるから、高齢者等を優先すべきと思うから、空き巣などの犯罪が心配 など



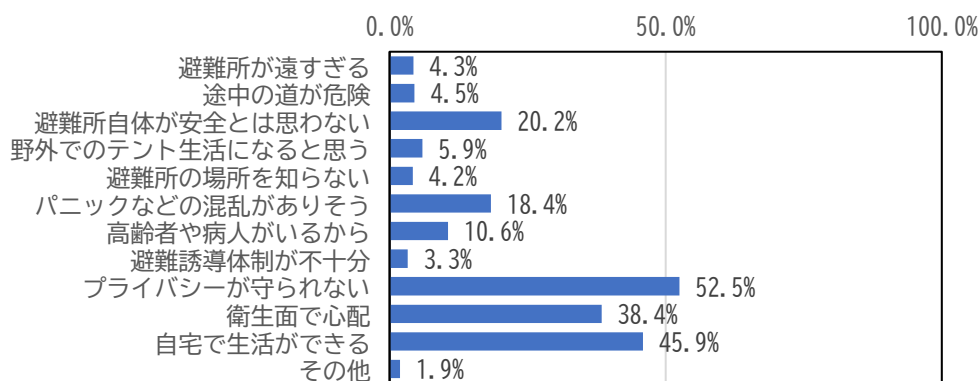
■東予地域

選択肢	数	割合
避難所が遠すぎるから	23	4.5%
避難所へ行く途中の道に危険なところがあるから	39	7.7%
避難所自体が安全だと思わないから	109	21.5%
避難所での生活が野外のテント生活になると思うから	32	6.3%
どこが避難所なのか知らないから	19	3.7%
避難の際、住民の間でパニックなどの混乱が予想されるから	91	17.9%
高齢者や病人がいるから	57	11.2%
自主防災組織などの避難誘導體制が不十分であるから	18	3.5%
避難所ではプライバシーが守れないから	240	47.2%
衛生面で心配だから	166	32.7%
自宅で生活ができると思うから	211	41.5%
その他	12	2.4%
合計	508	



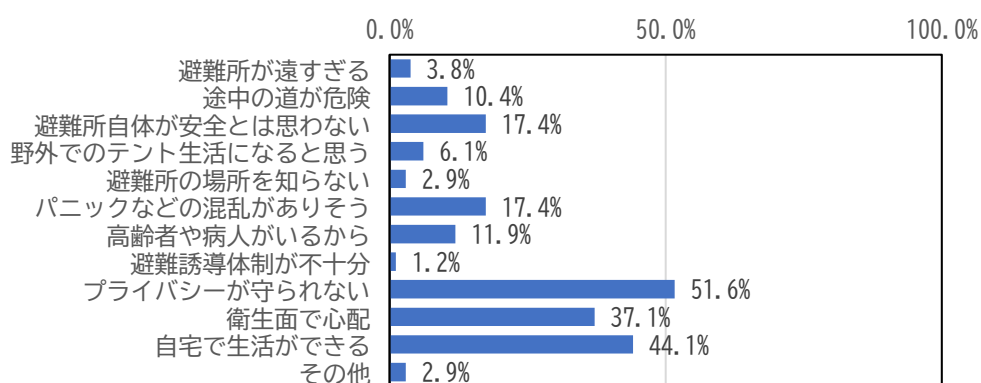
■中予地域

選択肢	数	割合
避難所が遠すぎるから	39	4.3%
避難所へ行く途中の道に危険なところがあるから	41	4.5%
避難所自体が安全だと思わないから	184	20.2%
避難所での生活が野外のテント生活になると思うから	54	5.9%
どこが避難所なのか知らないから	38	4.2%
避難の際、住民の間でパニックなどの混乱が予想されるから	167	18.4%
高齢者や病人がいるから	96	10.6%
自主防災組織などの避難誘導體制が不十分であるから	30	3.3%
避難所ではプライバシーが守れないから	477	52.5%
衛生面で心配だから	349	38.4%
自宅で生活ができると思うから	417	45.9%
その他	17	1.9%
合計	909	



■南予地域

選択肢	数	割合
避難所が遠すぎるから	13	3.8%
避難所へ行く途中の道に危険なところがあるから	36	10.4%
避難所自体が安全だと思わないから	60	17.4%
避難所での生活が野外のテント生活になると思うから	21	6.1%
どこが避難所なのか知らないから	10	2.9%
避難の際、住民の間でパニックなどの混乱が予想されるから	60	17.4%
高齢者や病人がいるから	41	11.9%
自主防災組織などの避難誘導體制が不十分であるから	4	1.2%
避難所ではプライバシーが守れないから	178	51.6%
衛生面で心配だから	128	37.1%
自宅で生活ができると思うから	152	44.1%
その他	10	2.9%
合計	345	



2.2.9. 住宅の地震対策

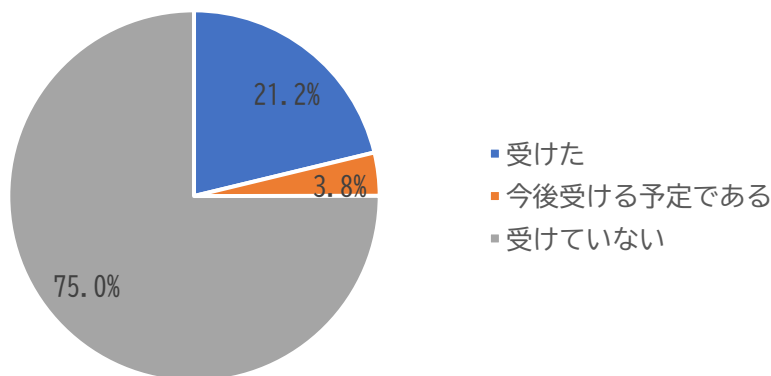
問5で「持ち家の一戸建ての住宅」と回答した方

(1) 自宅の耐震診断

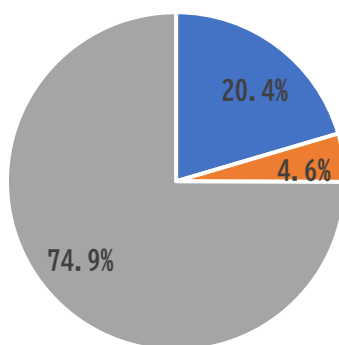
問23 あなたのお宅は、耐震診断を受けましたか。(〇は1つ)

耐震診断の受診状況は、「受けた」が21.2%に対して、「受けていない」が75.0%と多かった。地域別で、傾向に違いはないものの、南予の受けた割合が、全体と比べて5ポイントほど少なかった。

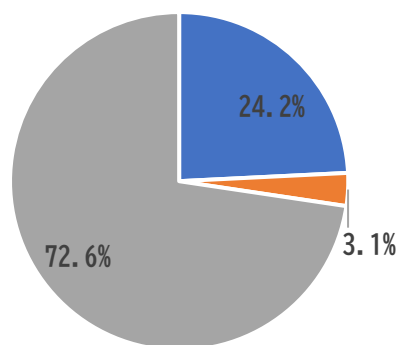
選択肢	数	割合
受けた	305	21.2%
今後受ける予定である	54	3.8%
受けていない	1,078	75.0%
合計	1,437	



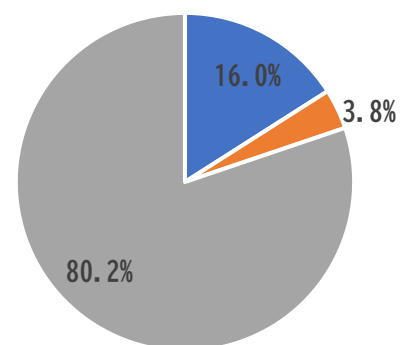
		受けた		今後受ける予定である		受けていない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	93	20.4%	21	4.6%	341	74.9%	455
	中予	162	24.2%	21	3.1%	486	72.6%	669
	南予	50	16.0%	12	3.8%	251	80.2%	313



東予



中予



南予

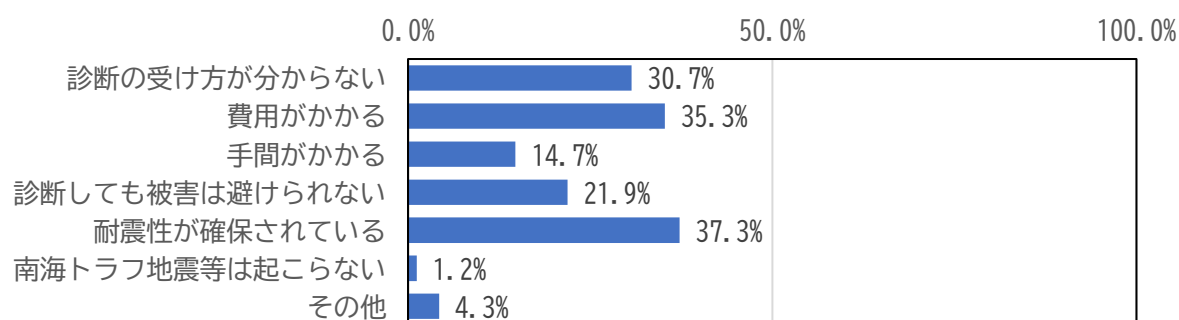
(2) 耐震診断を受けない理由

問 23-1 耐震診断を受けないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○)

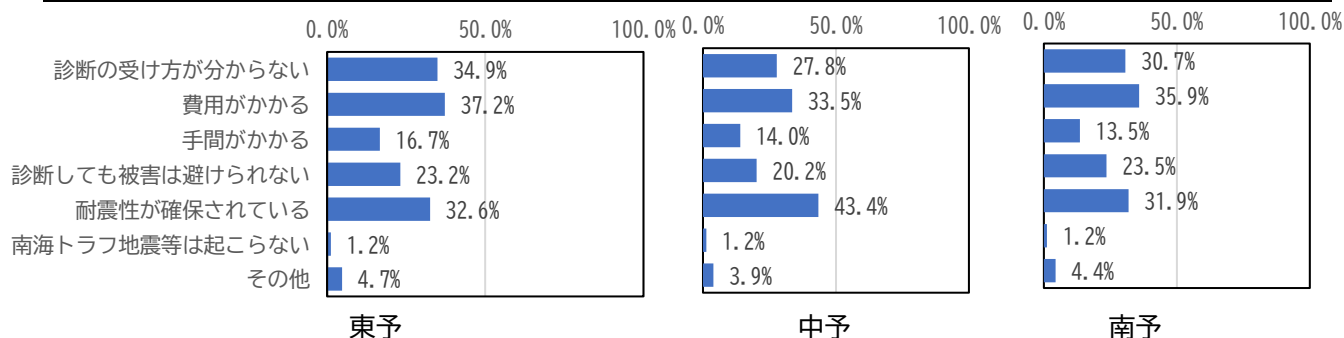
耐震診断を受けない理由は、「耐震性が確保されている」(37.3%)が最も多く、次いで、「費用がかかる」(35.3%)、「診断の受け方が分からない」(30.7%)が多かった。地域別で、この3つが多い傾向に違いはなかった。

選択肢	数	割合
診断の受け方がわからないから	331	30.7%
費用がかかるから	380	35.3%
手間がかかるから	159	14.7%
診断しても大地震の被害は避けられないと思うから	236	21.9%
既に耐震性が確保されている(1981年以降に建築された住宅に住んでいる)	402	37.3%
南海トラフ地震等が起こるとは思わないから	13	1.2%
その他	46	4.3%
合計	1,078	

その他の意見：なおすお金がないから、津波で流されるから、手続きが難しい など



選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
診断の受け方がわからないから	119	34.9%	135	27.8%	77	30.7%
費用がかかるから	127	37.2%	163	33.5%	90	35.9%
手間がかかるから	57	16.7%	68	14.0%	34	13.5%
診断しても大地震の被害は避けられないと思うから	79	23.2%	98	20.2%	59	23.5%
既に耐震性が確保されている	111	32.6%	211	43.4%	80	31.9%
南海トラフ地震等が起こるとは思わないから	4	1.2%	6	1.2%	3	1.2%
その他	16	4.7%	19	3.9%	11	4.4%
合計	341		486		251	

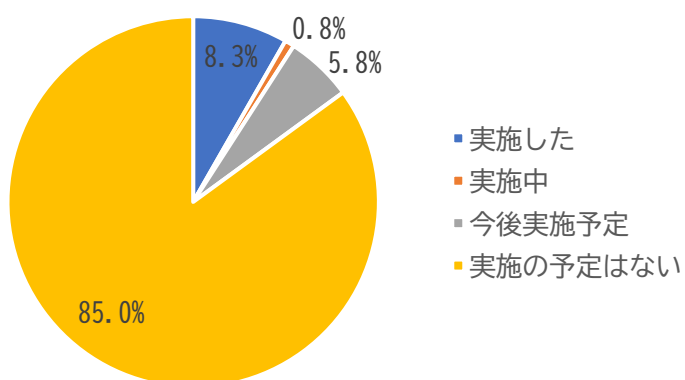


(3) 自宅の耐震改修

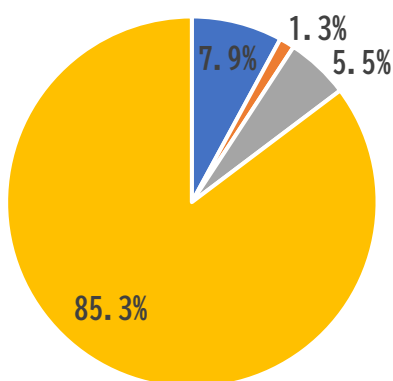
問 24 あなたのお宅は、耐震改修をする予定はありますか。(○は1つ)

耐震改修の実施状況は、「実施の予定はない」(85.0%)が最も多かった。地域別で、傾向に違いはない。

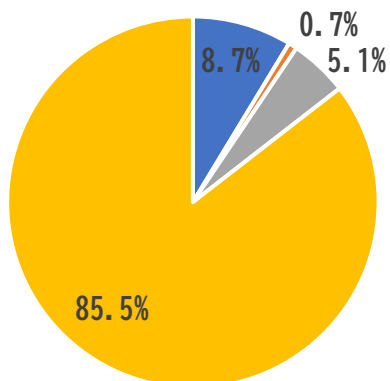
選択肢	数	割合
実施した	119	8.3%
実施中	12	0.8%
今後実施予定	84	5.8%
実施の予定はない	1,222	85.0%
合計	1,437	



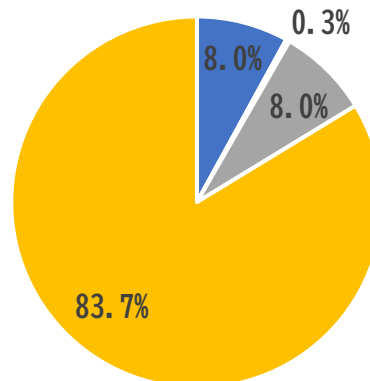
地域		実施した		実施中		今後実施予定		実施の予定はない		全体
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	36	7.9%	6	1.3%	25	5.5%	388	85.3%	455
	中予	58	8.7%	5	0.7%	34	5.1%	572	85.5%	669
	南予	25	8.0%	1	0.3%	25	8.0%	262	83.7%	313



東予



中予



南予

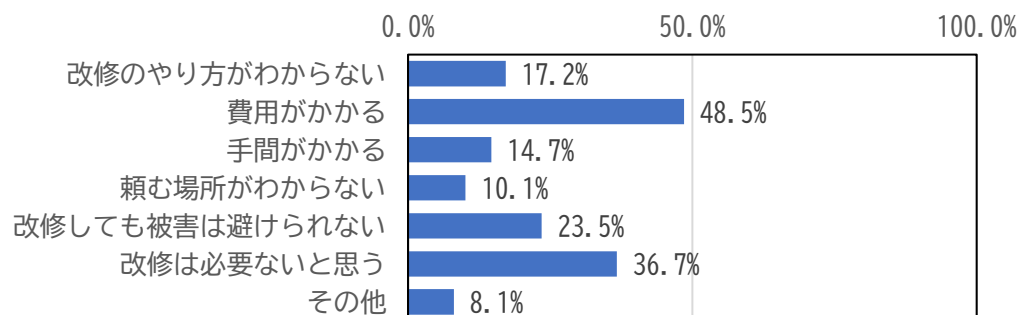
(4) 耐震改修を実施しない理由

問 24-1 耐震改修を実施していないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○)

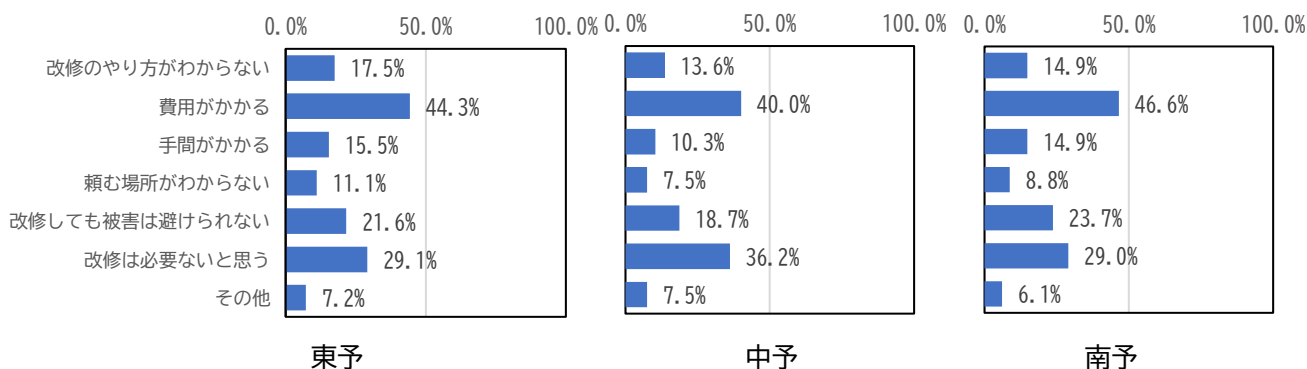
耐震改修を実施しない理由は、「費用がかかる」(48.5%) が最も多く、次いで「改修は必要ないと思う」(36.7%) が多かった。地域別でも、この2つが多い傾向に違いはない。

選択肢	数	割合
改修のやり方がわからないから	185	17.2%
費用がかかるから	523	48.5%
手間がかかるから	158	14.7%
工事をどこに頼んだら良いかわからないから	109	10.1%
改修しても大地震の被害は避けられないと思うから	253	23.5%
耐震改修は必要ないと思う・耐震診断の結果必要ないと言われた	396	36.7%
その他	87	8.1%
合計	1,222	

その他の意見：生きているうちに地震が起きるとは思わない、



選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
改修のやり方がわからないから	68	17.5%	78	13.6%	39	14.9%
費用がかかるから	172	44.3%	229	40.0%	122	46.6%
手間がかかるから	60	15.5%	59	10.3%	39	14.9%
工事をどこに頼んだら良いかわからないから	43	11.1%	43	7.5%	23	8.8%
改修しても大地震の被害は避けられないと思うから	84	21.6%	107	18.7%	62	23.7%
耐震改修は必要ないと思う・耐震診断の結果必要ないと言われた	113	29.1%	207	36.2%	76	29.0%
その他	28	7.2%	43	7.5%	16	6.1%
合計	388		572		262	

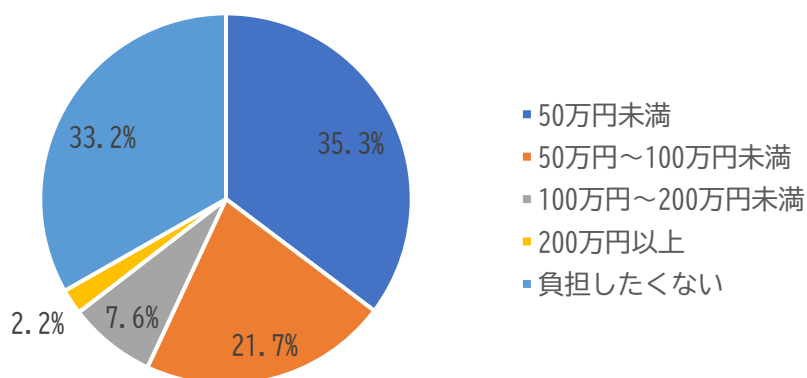


(5) 自宅の耐震改修への費用負担

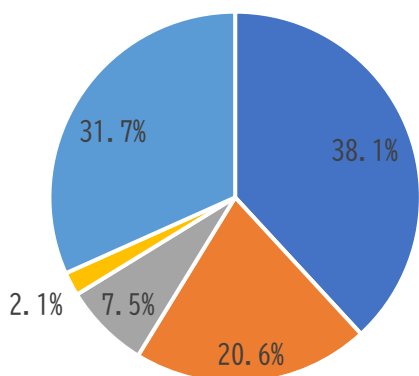
問 25 耐震改修に際して、どの程度の費用負担なら実施を検討しますか。(○は1つ)

耐震改修の費用負担は、「50万円未満」(35.3%)と「負担したくない」(33.2%)の割合が高かった。地域別で、傾向に違いはない。

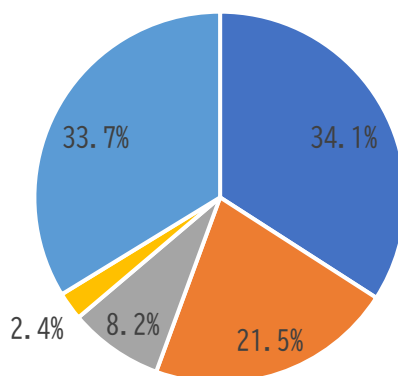
選択肢	数	割合
50万円未満	431	35.3%
50万円～100万円未満	265	21.7%
100万円～200万円未満	93	7.6%
200万円以上	27	2.2%
負担したくない	406	33.2%
合計	1,222	



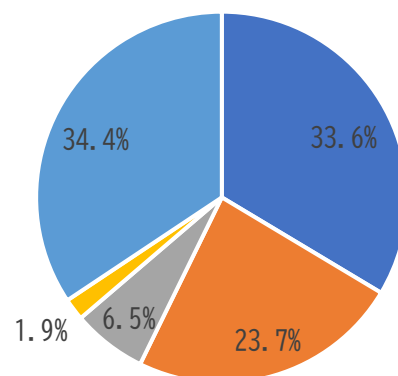
		50万円未満		50万円～100万円未満		100万円～200万円未満		200万円以上		負担したくない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	148	38.1%	80	20.6%	29	7.5%	8	2.1%	123	31.7%	388
	中予	195	34.1%	123	21.5%	47	8.2%	14	2.4%	193	33.7%	572
	南予	88	33.6%	62	23.7%	17	6.5%	5	1.9%	90	34.4%	262



東予



中予



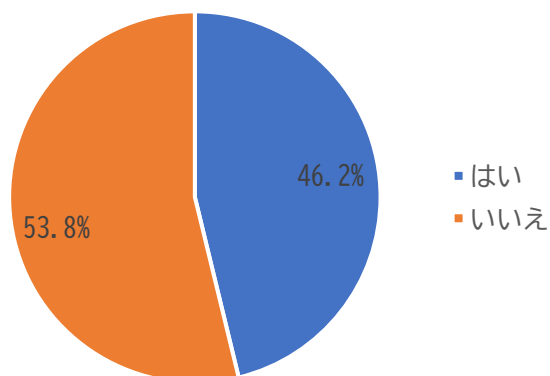
南予

(6) 耐震シェルターの認識

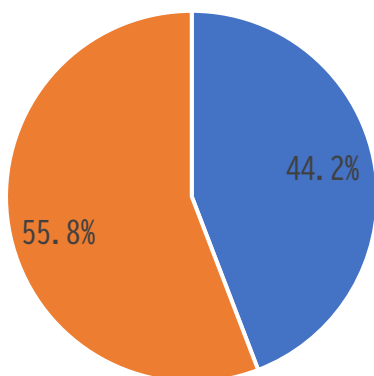
問 26 耐震シェルターとは、建物が倒壊等しても建物の一部に身を守るための場所や空間ができるよう部屋を改良するものです。耐震シェルターをご存知でしたか。(○は1つ)

耐震シェルターの認知度は、「知らない」が 53.8%と知っているよりやや多かった。地域別で、傾向に違いはない。

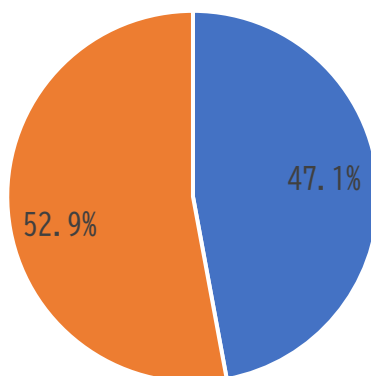
選択肢	数	割合
はい	664	46.2%
いいえ	773	53.8%
合計	1,437	



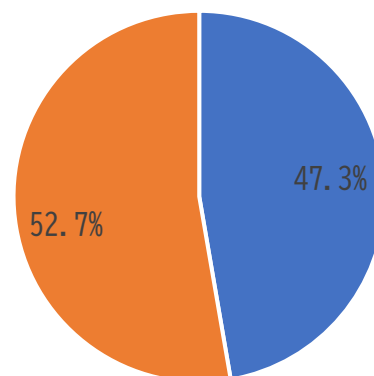
		はい		いいえ		全体
		数	割合	数	割合	数
地域	東予	201	44.2%	254	55.8%	455
	中予	315	47.1%	354	52.9%	669
	南予	148	47.3%	165	52.7%	313



東予



中予



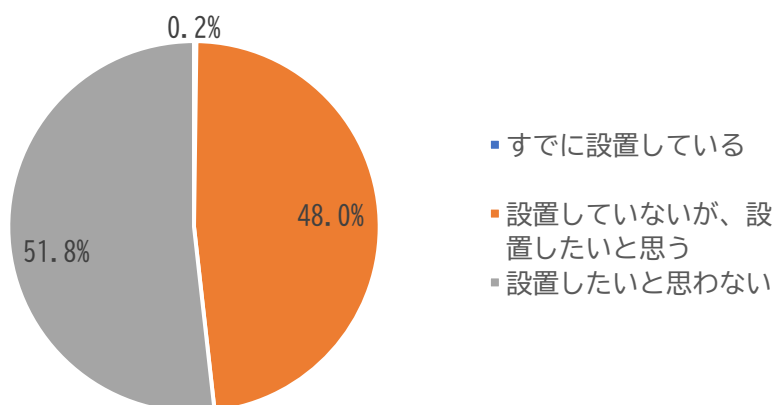
南予

(7) 耐震シェルターの設置意向

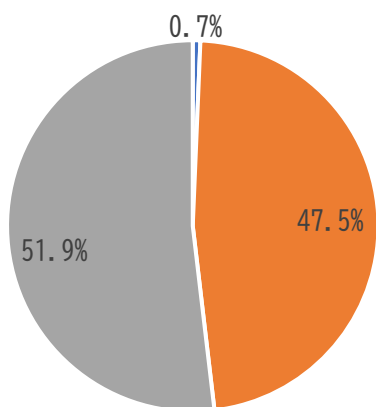
問 27 耐震シェルターを設置したいと思いますか。(○は1つ)

耐震シェルターの設置意向は、「設置したいと思わない」が 51.8%とやや多かった。地域別で、傾向に違いはない。

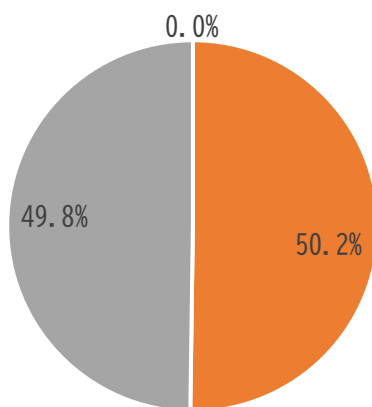
選択肢	数	割合
すでに設置している	3	0.2%
設置していないが、設置したいと思う	690	48.0%
設置したいと思わない	744	51.8%
合計	1,437	



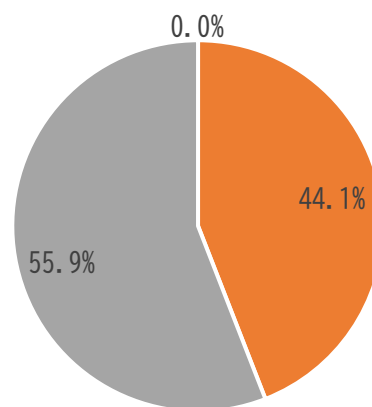
		すでに設置している		設置したいと思う		設置したいと思わない		全体数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	3	0.7%	216	47.5%	236	51.9%	455
	中予	0	0.0%	336	50.2%	333	49.8%	669
	南予	0	0.0%	138	44.1%	175	55.9%	313



東予



中予



南予

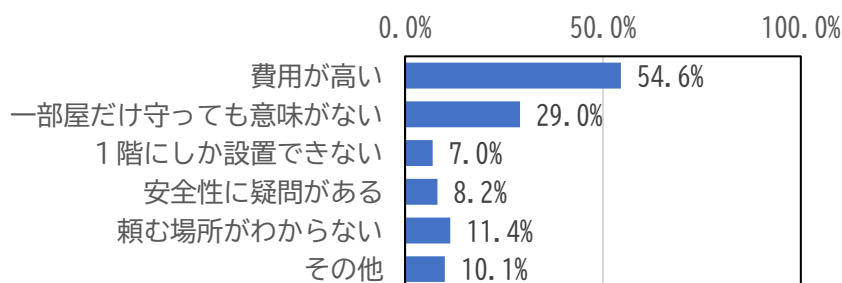
(8) 耐震シェルターを設置しない理由

問 27-1 耐震シェルターを設置したいと思わないのはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○)

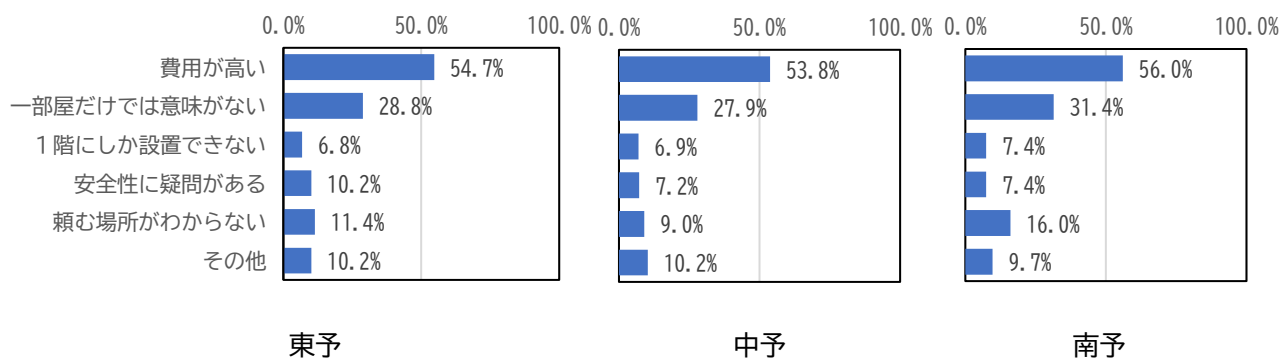
耐震シェルターを設置しない理由は、「費用が高い」(54.6%)が最も多く、次いで「一階だけ守っても意味がない」(29.0%)が多かった。地域別で、傾向に違いはない。

選択肢	数	割合
費用が高いから	406	54.6%
一部屋だけ守っても意味がないから	216	29.0%
1階にしか設置できないから	52	7.0%
安全性に疑問があるから	61	8.2%
工事をどこに頼んだらよいかわからないから	85	11.4%
その他	75	10.1%
合計	744	

その他の意見：津波で流されてしまうため、普段の生活に影響がありそう など



選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
費用が高いから	129	54.7%	179	53.8%	98	56.0%
一部屋だけ守っても意味がないから	68	28.8%	93	27.9%	55	31.4%
1階にしか設置できないから	16	6.8%	23	6.9%	13	7.4%
安全性に疑問があるから	24	10.2%	24	7.2%	13	7.4%
工事をどこに頼んだらよいかわからないから	27	11.4%	30	9.0%	28	16.0%
その他	24	10.2%	34	10.2%	17	9.7%
合計	236		333		175	

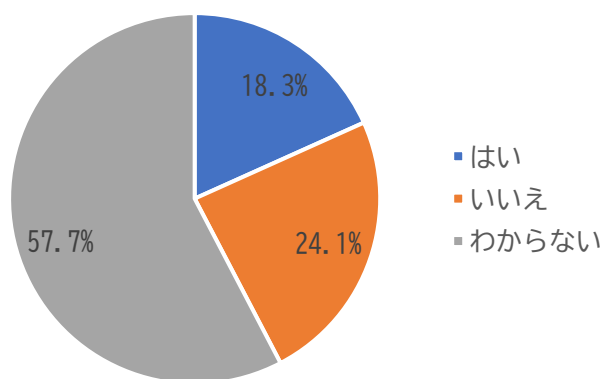


(9) 耐震シェルターの設置が安価であれば検討するか

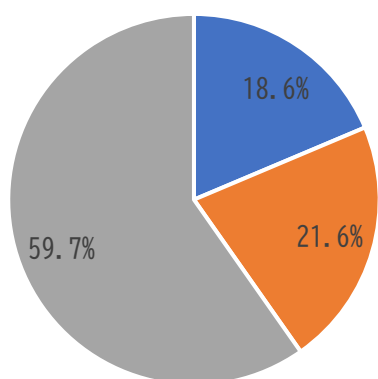
問 28 耐震シェルターの設置が、建物の耐震改修よりも安価にできる場合、設置を検討しますか。
(○は1つ)

耐震シェルター設置の検討は、「安価であれば検討する」が 18.3%、「安価であっても検討しない」が 24.1%と、安価であっても検討しない方が多い。「わからない」(57.7%) が最も多かった。地域別で、傾向に違いはない。

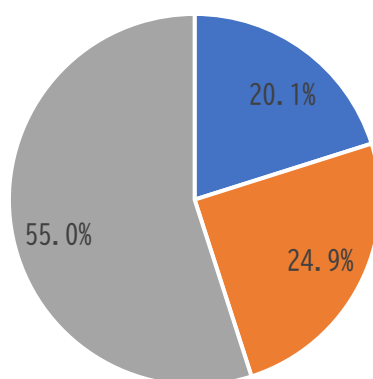
選択肢	数	割合
はい	136	18.3%
いいえ	179	24.1%
わからない	429	57.7%
合計	744	



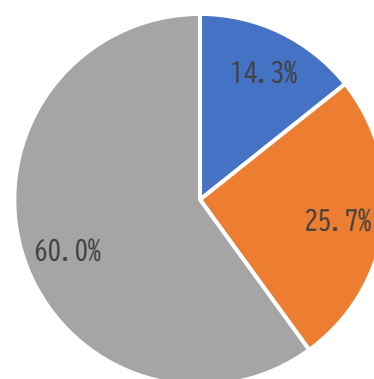
	地域	はい		いいえ		わからない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	
	東予	44	18.6%	51	21.6%	141	59.7%	236
	中予	67	20.1%	83	24.9%	183	55.0%	333
	南予	25	14.3%	45	25.7%	105	60.0%	175



東予



中予



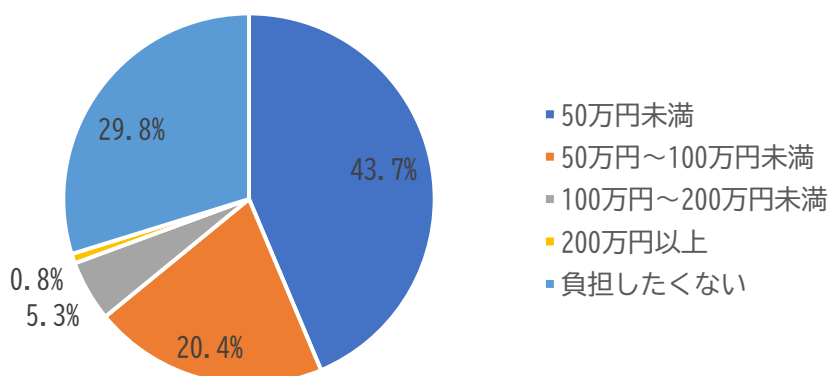
南予

(10) 耐震シェルター設置の費用負担

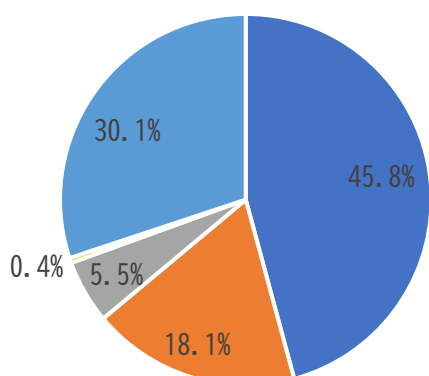
問 29 耐震シェルターの設置に対して、どの程度の費用負担なら設置を検討しますか。(○は1つ)

耐震シェルター設置の費用負担は、「50万円未満」(43.7%)が最も多く、次いで「負担したくない」(29.8%)が多かった。地域別で、傾向に違いはない。

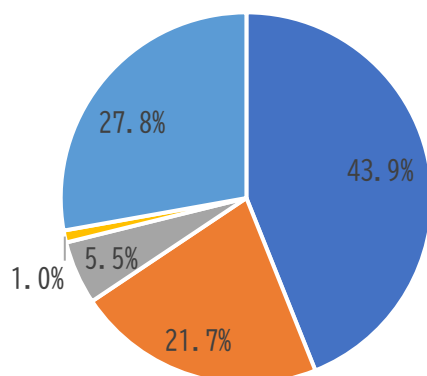
選択肢	数	割合
50万円未満	626	43.7%
50万円～100万円未満	293	20.4%
100万円～200万円未満	76	5.3%
200万円以上	12	0.8%
負担したくない	427	29.8%
合計	1,434	



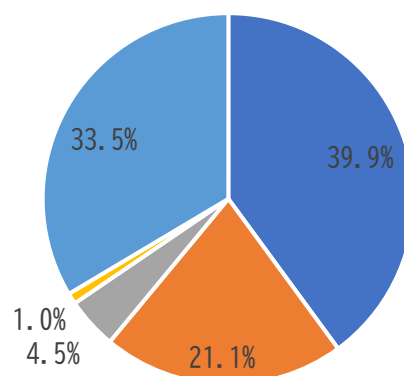
地域		50万円未満		50万円～100万円未満		100万円～200万円未満		200万円以上		負担したくない		全体数
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	207	45.8%	82	18.1%	25	5.5%	2	0.4%	136	30.1%	452
	中予	294	43.9%	145	21.7%	37	5.5%	7	1.0%	186	27.8%	669
	南予	125	39.9%	66	21.1%	14	4.5%	3	1.0%	105	33.5%	313



東予



中予



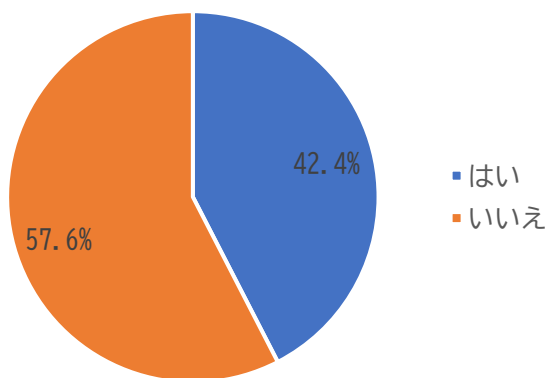
南予

(11) 感震ブレーカーの認識

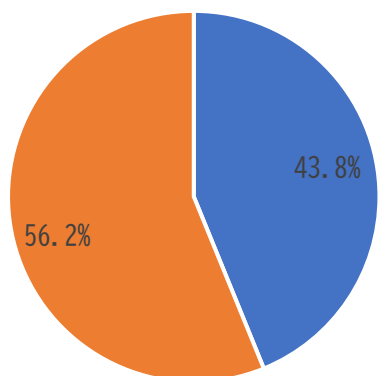
問 30 近年発生した大規模地震時の火災の半数以上が、停電状態からの復旧時に電気コードがショートしたりすることにより出火する「電気火災」と言われています。電気火災対策として、「感震ブレーカー」という装置をご存じですか。(○は1つ)

感震ブレーカーの認識は、「知らない」が57.6%で半数以上が知らなかった。地域別で、傾向に違いはない。

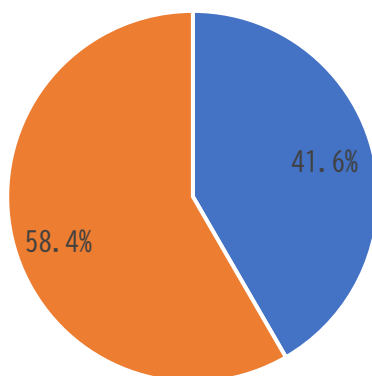
選択肢	数	割合
はい	662	42.4%
いいえ	898	57.6%
合計	1,560	



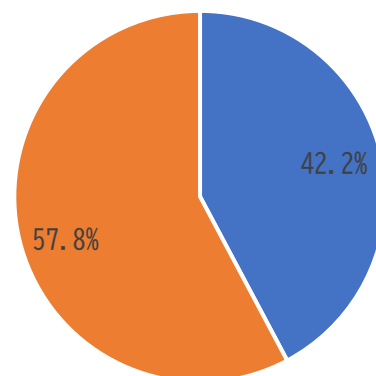
		はい		いいえ		全体
		数	割合	数	割合	数
地域	東予	210	43.8%	269	56.2%	479
	中予	319	41.6%	447	58.4%	766
	南予	133	42.2%	182	57.8%	315



東予



中予



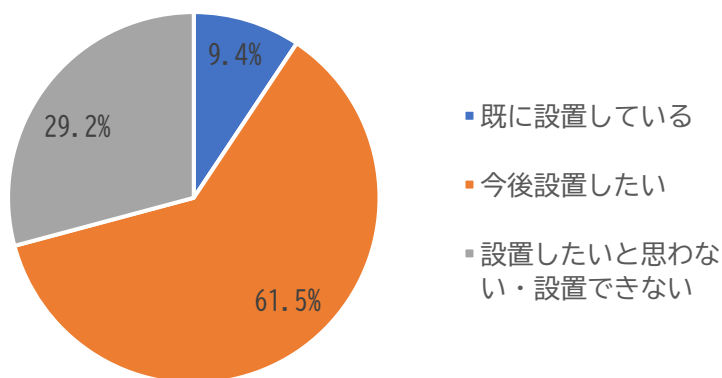
南予

(12) 感震ブレーカーの設置意向

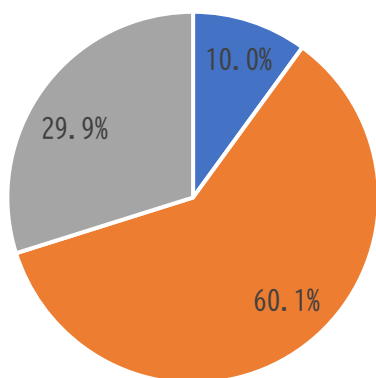
問 30-1 あなたのお宅に感震ブレーカーを設置したいと思いますか。(○は1つ)

感震ブレーカーの設置意向は、「今後設置したい」(61.5%)が最も多かった。地域別で、傾向に違いはない。

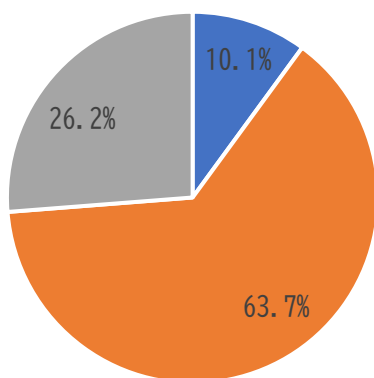
選択肢	数	割合
既に設置している	146	9.4%
今後設置したい	959	61.5%
設置したいと思わない・設置できない	455	29.2%
合計	1,560	



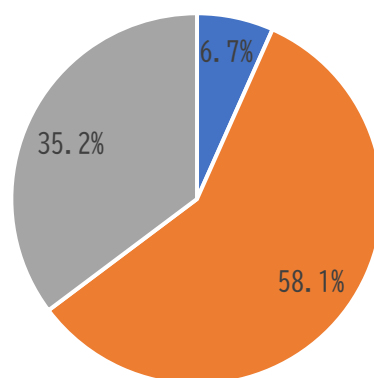
	地域	既に設置している		今後設置したい		設置したいと思わない		全体数
		数	割合	数	割合	数	割合	
	東予	48	10.0%	288	60.1%	143	29.9%	479
	中予	77	10.1%	488	63.7%	201	26.2%	766
	南予	21	6.7%	183	58.1%	111	35.2%	315



東予



中予



南予

2.2.10. 南海トラフ地震臨時情報

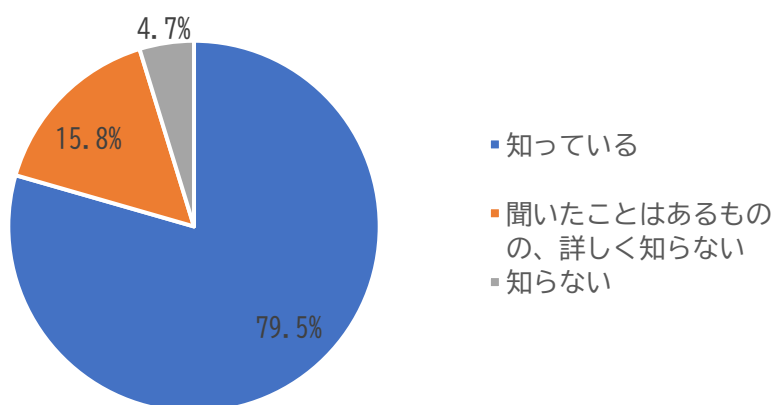
(1) 南海トラフ地震の発生確率が高まっていることの認識

問 31 南海トラフ沿いの巨大地震の発生について、今後 30 年以内にマグニチュード 8～9 クラスの巨大地震が発生する確率が 80%程度とされています。発生確率が高まっていることをご存じでしたか。また、この発生確率について、どのように感じますか。(それぞれ○は1つ)

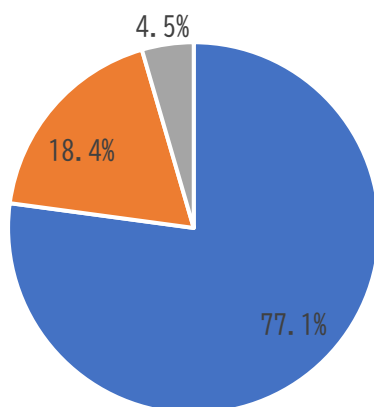
南海トラフ地震の発生確率が高まっていることについて、「知っている」(79.5%)が最も多かった。地域別で、傾向に違いはない。

■発生確率が高まっていることについて

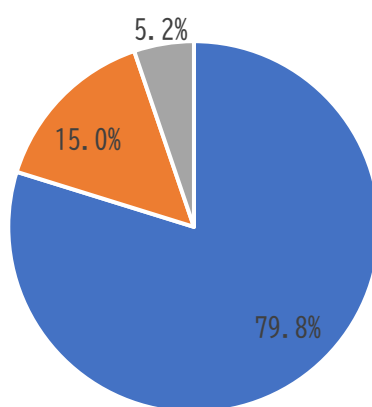
選択肢	数	割合
知っている	1,659	79.5%
聞いたことはあるものの、詳しく知らない	330	15.8%
知らない	99	4.7%
合計	2,088	



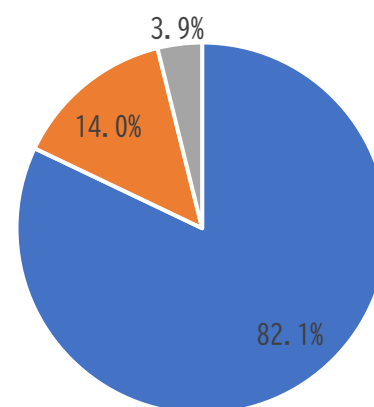
地域		知っている		詳しく知らない		知らない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	479	77.1%	114	18.4%	28	4.5%	621
	中予	841	79.8%	158	15.0%	55	5.2%	1,054
	南予	339	82.1%	58	14.0%	16	3.9%	413



東予



中予



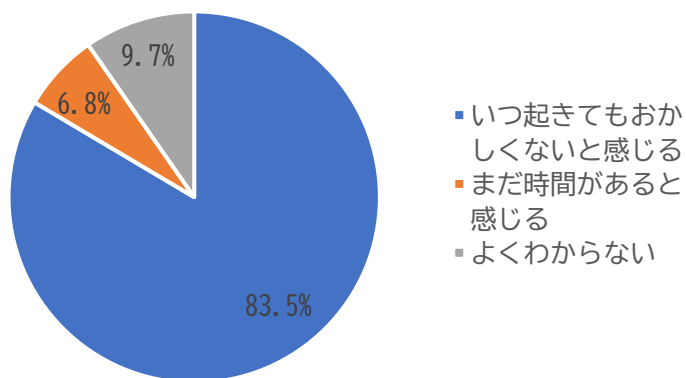
南予

(2) 南海トラフ地震の発生確率に対する受け止め方

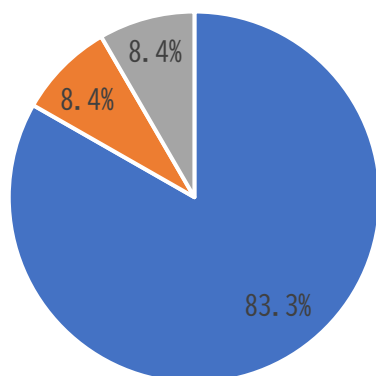
80%程度の発生確率をどのように感じるかは、「いつ起きてもおかしくない」(83.5%)が最も多かった。地域別で、傾向に違いはない。

■80%という確率を聞いて

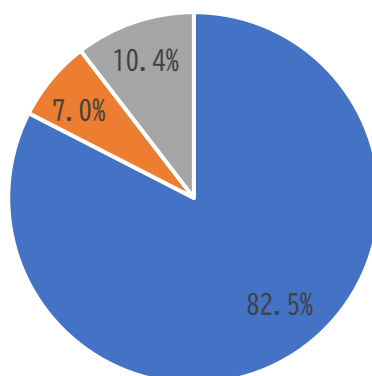
選択肢	数	割合
いつ起きてもおかしくないと感じる	1,744	83.5%
まだ時間があると感じる	142	6.8%
よくわからない	202	9.7%
合計	2,088	



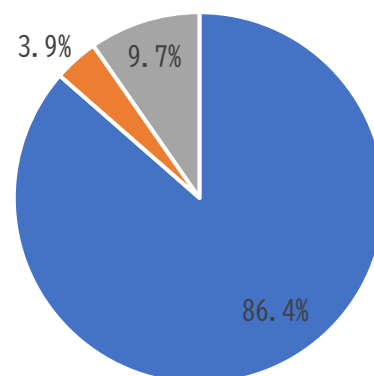
地域		いつ起きてもおかしくない		まだ時間がある		わからない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	517	83.3%	52	8.4%	52	8.4%	621
	中予	870	82.5%	74	7.0%	110	10.4%	1,054
	南予	357	86.4%	16	3.9%	40	9.7%	413



東予



中予



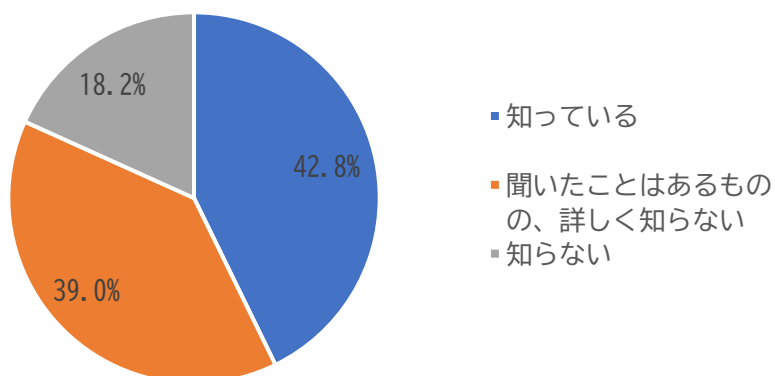
南予

(3) 南海トラフ地震臨時情報の認識

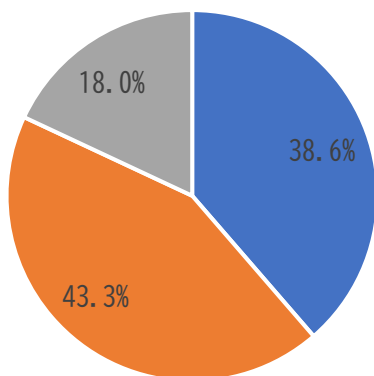
問 32 南海トラフ沿いでマグニチュード 6.8 以上の地震などを観測した場合、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表することになっています。「南海トラフ地震臨時情報」には、「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」の 2 つがあります。あなたはこの臨時情報のことを知っていますか。(〇は 1 つ)

「南海トラフ地震臨時情報」に種類があることを、「知っている」が約 4 割、「聞いたことがあるものの、詳しく知らない」を含めると約 8 割の方が知っていた。地域別で、傾向に違いはない。

選択肢	数	割合
知っている	893	42.8%
聞いたことはあるものの、詳しく知らない	814	39.0%
知らない	381	18.2%
合計	2,088	



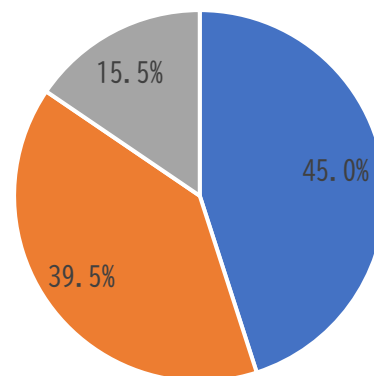
地域		知っている		詳しく知らない		知らない		全体数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	240	38.6%	269	43.3%	112	18.0%	621
	中予	467	44.3%	382	36.2%	205	19.4%	1,054
	南予	186	45.0%	163	39.5%	64	15.5%	413



東予



中予



南予

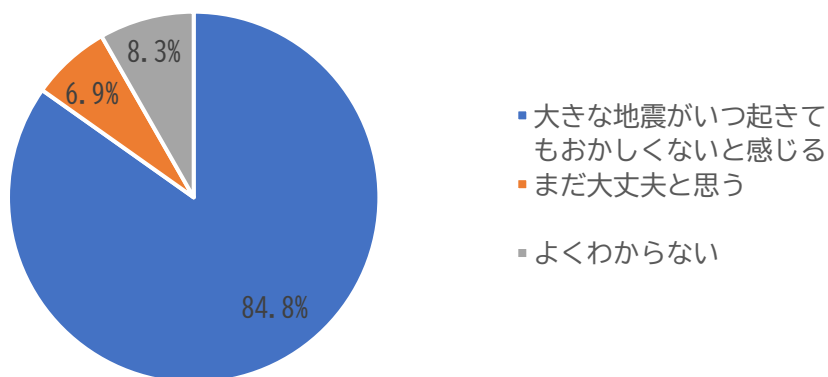
(4) 南海トラフ地震臨時情報の受け止め方（巨大地震警戒）

問 33 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、あなたはその情報をどのように受け止めますか。
（それぞれ○は1つ）

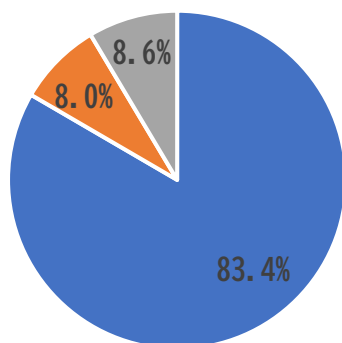
南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」の受け止め方は、「大きな地震がいつ起きてもおかしくないと感じる」（84.8%）が最も多かった。地域別で、傾向に違いはない。

■南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）

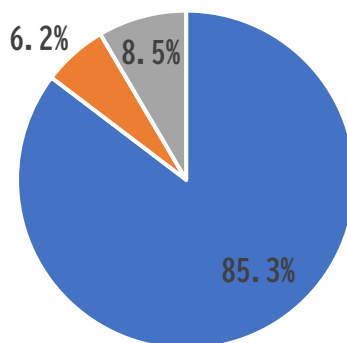
選択肢	数	割合
大きな地震がいつ起きてもおかしくないと感じる	1,652	84.8%
まだ大丈夫と思う	135	6.9%
よくわからない	161	8.3%
無回答	0	0.0%
合計	1,948	



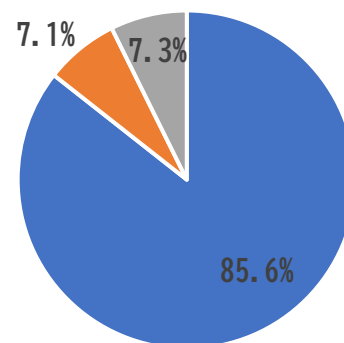
		いつ起きても おかしくない		まだ大丈夫 と思う		わからない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	487	83.4%	47	8.0%	50	8.6%	584
	中予	826	85.3%	60	6.2%	82	8.5%	968
	南予	339	85.6%	28	7.1%	29	7.3%	396



東予



中予



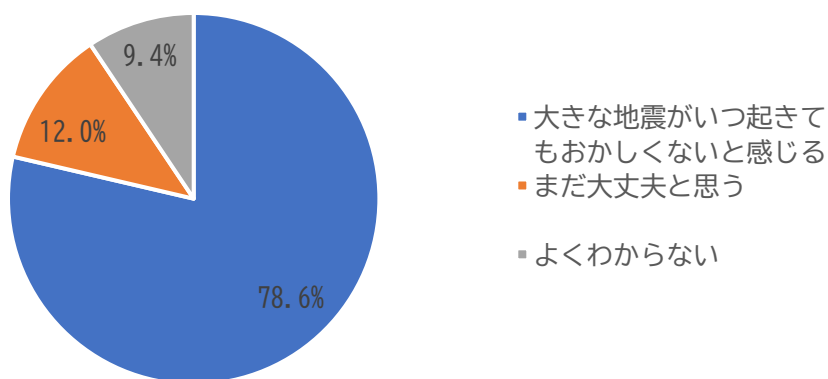
南予

(5) 南海トラフ地震臨時情報の受け止め方（巨大地震注意）

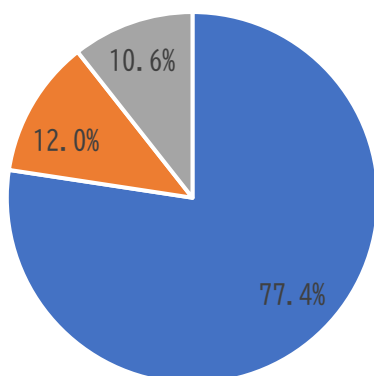
南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」の受け止め方は、「大きな地震がいつ起きてもおかしくないと感じる」（78.6%）が最も多かった。「巨大地震警戒」と比べると、「いつ起きてもおかしくないと感じる」が減り、「まだ大丈夫と思う」が増えている。地域別で、傾向に違いはない。

■南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

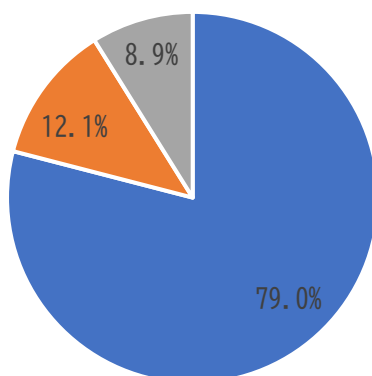
選択肢	数	割合
大きな地震がいつ起きてもおかしくないと感じる	1,532	78.6%
まだ大丈夫と思う	233	12.0%
よくわからない	183	9.4%
無回答	0	0.0%
合計	1,948	



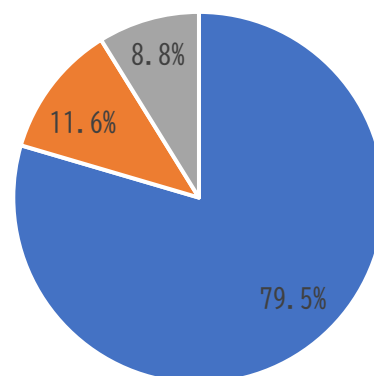
		いつ起きてもおかしくない		まだ大丈夫と思う		わからない		全体 数
		数	割合	数	割合	数	割合	
地域	東予	452	77.4%	70	12.0%	62	10.6%	584
	中予	765	79.0%	117	12.1%	86	8.9%	968
	南予	315	79.5%	46	11.6%	35	8.8%	396



東予



中予



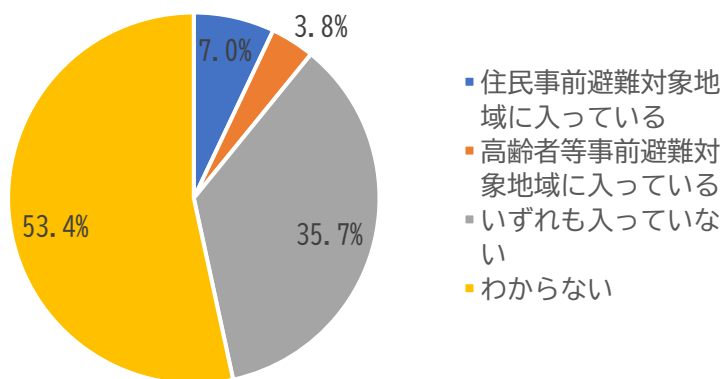
南予

(6) 事前避難対象地域の認識

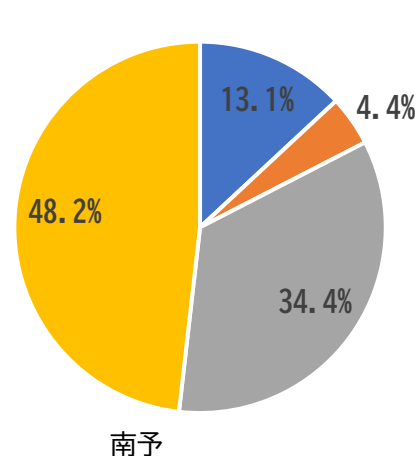
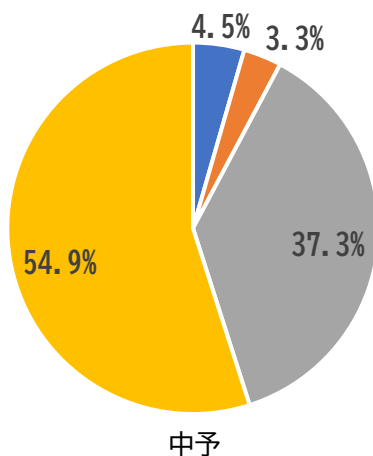
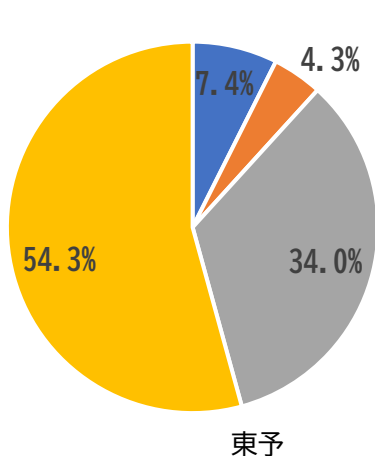
問 34 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際に、後発地震（先に発生した地震に続いて発生する大規模地震）に伴う津波に備えて、事前に1週間避難しなければならない地域（住民事前避難対象地域、または高齢者等事前避難対象地域）があります、あなたの自宅はその地域に入っていますか。（○は1つ）

事前避難対象地域に含まれるかは、「わからない」（53.4%）が最も多く半数以上であった。地域別では、南予が「わからない」が48.2%と半数を下回っている。

選択肢	数	割合
住民事前避難対象地域に入っている	147	7.0%
高齢者等事前避難対象地域に入っている	80	3.8%
いずれも入っていない	746	35.7%
わからない	1,115	53.4%
合計	2,088	



地域		住民事前避難対象地域		高齢者等事前避難対象地域		入っていない		わからない		全体
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数
地域	東予	46	7.4%	27	4.3%	211	34.0%	337	54.3%	621
	中予	47	4.5%	35	3.3%	393	37.3%	579	54.9%	1,054
	南予	54	13.1%	18	4.4%	142	34.4%	199	48.2%	413



(7) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）を受けた行動

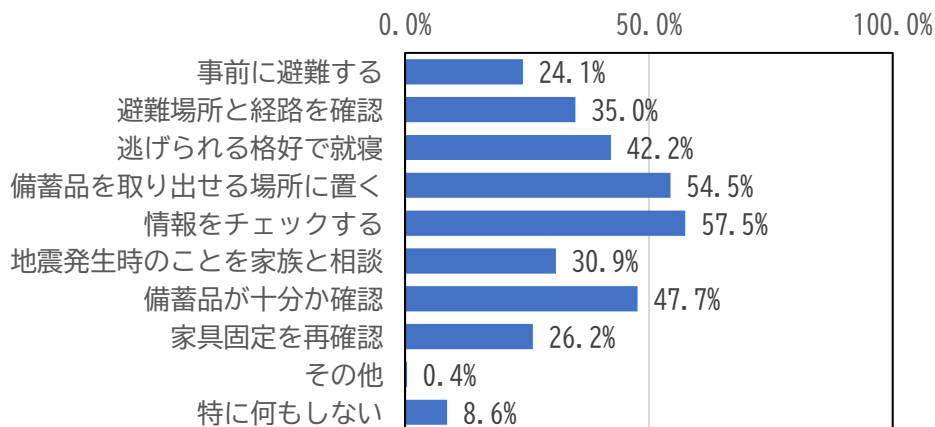
問 35 南海トラフ地震臨時情報が発表されているとき、あなたはどのような行動を起こしますか。「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」で、それぞれ教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」が発表された際の行動は、「情報チェックを欠かさない」（57.5%）が最も多く、次いで「備蓄品をすぐに取り出せる位置に置く」（54.5%）、「備蓄品が十分かどうか確認する」（47.7%）と続く。地域別で、傾向に違いはない。

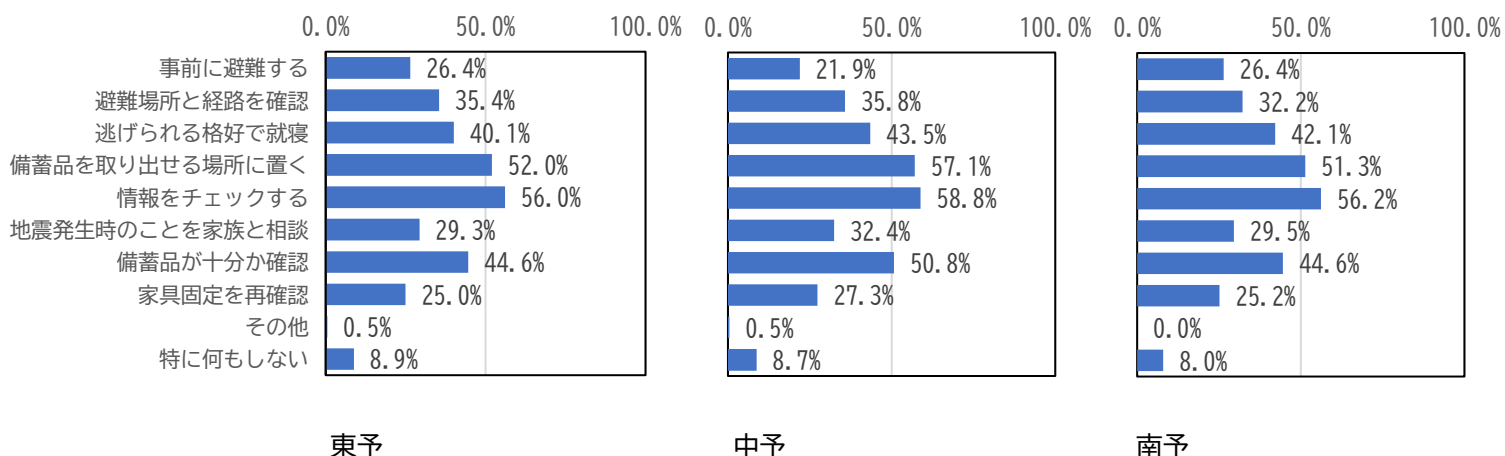
■巨大地震警戒

選択肢	数	割合
続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて、事前に避難する	504	24.1%
最寄りの避難場所と、そこまでの経路を確認する	730	35.0%
すぐに逃げられる格好で就寝する	881	42.2%
備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく	1,137	54.5%
携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない	1,200	57.5%
地震発生時を想定して家族や、ご近所と相談しておく	646	30.9%
備蓄品が十分かどうか確認する	996	47.7%
家具の固定について再確認する	547	26.2%
その他	8	0.4%
特に何もしない	180	8.6%
合計	2,088	

その他の意見：車で寝泊まりする、ペット避難の準備、家族と避難等について再確認、車に必要荷物を積んでおく、備蓄品の買い増し、日本はどこで地震が起きても不思議ではないと思っている など



選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて、事前に避難する	164	26.4%	231	21.9%	109	26.4%
最寄りの避難場所と、そこまでの経路を確認する	220	35.4%	377	35.8%	133	32.2%
すぐに逃げられる格好で就寝する	249	40.1%	458	43.5%	174	42.1%
備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく	323	52.0%	602	57.1%	212	51.3%
携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない	348	56.0%	620	58.8%	232	56.2%
地震発生時を想定して家族や、ご近所と相談しておく	182	29.3%	342	32.4%	122	29.5%
備蓄品が十分かどうか確認する	277	44.6%	535	50.8%	184	44.6%
家具の固定について再確認する	155	25.0%	288	27.3%	104	25.2%
その他	3	0.5%	5	0.5%	0	0.0%
特に何もしない	55	8.9%	92	8.7%	33	8.0%
合計	621		1,054		413	



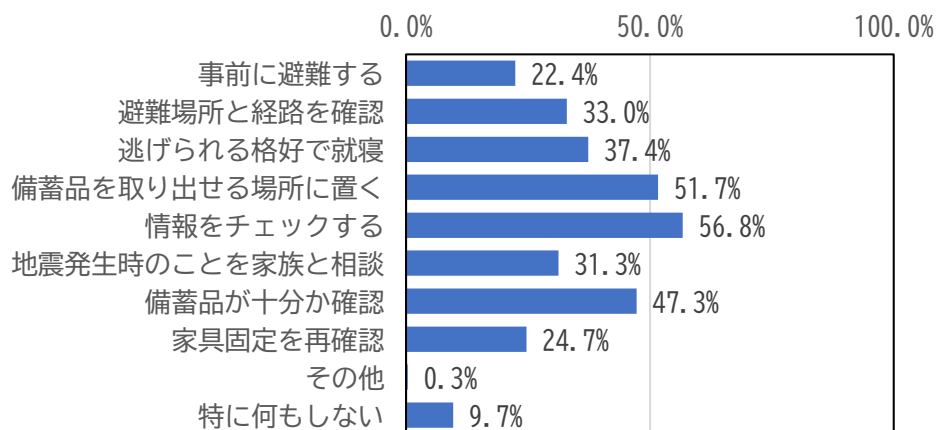
(8) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を受けた行動

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表された際の行動は、「情報チェックを欠かさない」(56.8%)が最も多く、次いで「備蓄品をすぐに取り出せる位置に置く」(51.7%)、「備蓄品が十分かどうか確認する」(47.3%)と続く。「巨大地震警戒」と差は見られない。地域別で、傾向に違いはない。

■巨大地震注意

選択肢	数	割合
続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて、事前に避難する	467	22.4%
最寄りの避難場所と、そこまでの経路を確認する	688	33.0%
すぐに逃げられる格好で就寝する	780	37.4%
備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく	1,079	51.7%
携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない	1,185	56.8%
地震発生時を想定して家族や、ご近所と相談しておく	653	31.3%
備蓄品が十分かどうか確認する	987	47.3%
家具の固定について再確認する	515	24.7%
その他	7	0.3%
特に何もしない	202	9.7%
合計	2,088	

その他の意見：車で寝泊まりする、家族と避難について再確認、車に必要荷物を積んでおく、備蓄品の買い増し など



選択肢	東予		中予		南予	
	数	割合	数	割合	数	割合
続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて、事前に避難する	143	23.0%	222	21.1%	102	24.7%
最寄りの避難場所と、そこまでの経路を確認する	220	35.4%	350	33.2%	118	28.6%
すぐに逃げられる格好で就寝する	231	37.2%	396	37.6%	153	37.0%
備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく	308	49.6%	565	53.6%	206	49.9%
携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない	347	55.9%	619	58.7%	219	53.0%
地震発生時を想定して家族や、ご近所と相談しておく	187	30.1%	344	32.6%	122	29.5%
備蓄品が十分かどうか確認する	272	43.8%	529	50.2%	186	45.0%
家具の固定について再確認する	133	21.4%	282	26.8%	100	24.2%
その他	2	0.3%	4	0.4%	1	0.2%
特に何もしない	60	9.7%	103	9.8%	39	9.4%
合計	621		1,054		413	

